

科目名 (英)	Excel・Word	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
	Excel・Word	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル選択者						
【授業の学習内容】 営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PAの現場で様々なスキルを身に着けた講師として、Word、Excelを中心に授業をしていきますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思います。 毎時間目標とする課題を設定していく計画です。							
【到達目標】 ＜具体的な目標＞ Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れるようになる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、効率よく仕事ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション: 自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。	
2回目	Word: 基本操作 文章作成、ページレイアウト、保存ができるようになる。	
3回目	Word: 文章の編集 文字の配置、インデント、文字の書式設定、行間の調整、印刷設定ができるようになる。	
4回目	Word: 表現力のある文章作成 表現のある文章作成ができるようになる。	
5回目	Word: 図形の応用 図形のさまざまな編集ができるようになる。	
6回目	Word: 表の作成 表の構成、行列の挿入と削除ができるようになる。	
7回目	Word: 便利な機能 検索と置換、様々な装飾ができるようになる。	
8回目	Word: SmartArtグラフィック 目的に応じたSmartArtを選択、操作ができるようになる。	
9回目	Word: 文章をサポートする機能とテンプレートの活用 スクリーンショット、クイックパーツ、テンプレートを活用できるようになる。	
10回目	Excel: Excelの基本操作 データの入力と編集、表の作成ができるようになる。	
11回目	Excel: 数式の作成 数式の入力、関数、絶対参照ができるようになる。	
12回目	Excel: 表の編集 フォントの書式設定、条件付き書式設定、シートの編集ができるようになる。	
13回目	Excel: グラフ作成と印刷 グラフの活用、編集、印刷ができるようになる。	
14回目	★評価週	Excel: ワークシートの操作と色々な活用方法 作業グループ、検索と置換、コメント挿入ができるようになる。
15回目	★まとめ・追試/再試	総復習: いろいろな練習問題をします。
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレはどの様になっているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてみたい。 パソコンが自宅や身近に触れる機会のある方は、どんどん触れてください。	
評価方法	定期試験は実施しません。 提出物100%で評価します。	
受講生への メッセージ	まずはパソコンに慣れて欲しい。車の免許と一緒に一度身につけてしまえば一生ものです。 とにかく触って慣れてくださいね。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	JMA検定2級 JMA test level 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル現場、サロン、舞台、ショーなどでフリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA2級検定に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
【到達目標】 JMA2級合格に必要なメイク知識、技術を習得できる。 メイクの基本技術を向上させ、ブライダルの現場で生かせるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	JMA2級検定について理解し、必要な知識を習得できる。
2回目	スキンケア実技 スキンケア実技を復習し、実践できる。
3回目	2級ベースメイク実技 2級のベースメイクの手技を習得し、実践できる。
4回目	スキンケア～2級ベースメイク実技、チーク、ハイライト、ローライト復習 前回内容の復習をし、より美しく仕上げることができる。
5回目	2級アイブロウ実技 2級アイブロウの描き方を知り、実践できる。
6回目	スキンケア～2級ベースメイク、アイブロウ、チーク、ハイライト、ローライト実技 復習をし、前回より美しく仕上げることができる。
7回目	2級アイメイク実技 2級アイメイクの方法を知り、実践できる。
8回目	スキンケア～2級ベースメイク、アイブロウ、アイメイク、チーク、ハイライト、ローライト実技 復習をし、前回より美しく仕上げることができる。
9回目	2級リップ実技 2級リップの描き方を知り、実践できる。
10回目	JMA2級内容実技 検定内容を実践できる。
11回目	ポイントメイク強化 アイブロウ、アイメイク、リップ、チークの苦手部分を克服できるようになる。
12回目	JMA2級内容実技 検定内容を時間内に実践できる。
13回目	JMA2級内容実技 検定内容を時間内により美しく仕上げることができる。
14回目	★評価週 定期テスト JMA2級内容
15回目	★まとめ・追試/再試 振り返り、苦手部分を克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	授業外でも練習をして臨んでください。
評価方法	定期試験100点満点 検定試験と同様の内容で評価します、手順、手技があっているか、左右対称に仕上がっているか、美しい仕上がりになっているか等、総合的に評価します。
メッセージ	3級に続き、さらなるレベルアップの検定となります。基本中の基本のテクニックばかりで、しっかり練習することで、メイクの基礎知識、基礎テクニックが飛躍的に向上します。意識を高く持って、頑張りましょう。授業以外の時間でも練習をしたり、イメトレをしたり、デッサンをしたり、意欲をもって取り組んでください。 期待しています。
【使用教科書・教材・参考書】 JMA教科書	

科目名 (英)	JMA検定3級対策 JMA test grade 3 measures	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイク業界でメイクアップアーティスト、JMA認定講師として、多くの人材の育成をしてきた教員が、技術者としての知識、スキル、接遇を習得し、JMA検定3級に合格するための授業を行う。 実務経験 JMA認定講師 【到達目標】 技術者としての心構え、知識、接遇を理解し、モデルに合わせたベースメイク、骨格補正ができるようになる。 JMA3級に合格できるスキルを持てるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	JMAとは何かを知る。技術者としての心構えを理解し、道具の名称、ケア方法などを習得できるようになる。	
2回目	スキンケア① 手指消毒、ポイントメイククレンジング、クレンジングローションの手順を覚え、施せるようになる。	
3回目	スキンケア② 手指消毒～クレンジングローションの工程を前回よりも手際よく施せるようになる。	
4回目	スキンケア③ 手指消毒～クレンジングローションの手順に加え、化粧水、乳液の手順を覚え、施せるようになる。	
5回目	スキンケア④ 手指消毒～乳液までを前回よりも手際よく施せるようになる。 ベースメイク① ベースメイクの工程を理解できるようになる。	
6回目	ベースメイク② ベースメイクの作り方を理解し、施せるようになる。	
7回目	ベースメイク③ スキンケア～ベースメイクを手際よく施せるようになる。	
8回目	顔型補正① スキンケア、ベースメイクに加え、チーク、ハイライト、ローライトの基本の入れ方を理解し、施せるようになる。	
9回目	顔型補正② スキンケア、ベースメイクに加え、モデルに合わせて顔型補正ができるようになる。	
10回目	スキンケア、ベースメイク、顔型補正（JMA3級内容）を前回より手際よく、美しく施せるようになる。	
11回目	JMA3級内容を制限時間内で美しく施せるようになる。	
12回目	JMA3級内容を制限時間内で美しく施せるようになる。（30分）	
13回目	タイム取り	JMA3級内容を30分以内に美しく施せるようになる。
14回目	★評価週	JMA3級内容を30分以内に美しく施せるようになる。
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手部分 克服できるようになる
準備学習 時間外学習	細かく手順が決まっている検定試験なので、必ず復習をして次の回に臨むようにしてください。	
評価方法	定期試験 実技試験JMA3級内容 技術者としてのマナー、手順の正確さ、仕上がりの美しさ等を評価します。	
受講生への メッセージ	全員合格目指します！！履歴書にも記載できる検定試験ですし、知識、スキルも習得できる授業です。楽しく半年間頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
JMA教科書、メイク道具一式		

科目名 (英)	ヨガ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	
	yoga	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科						
【授業の学習内容】							
・ホットヨガスタジオLAVAIにて1回30名の方へ向けたレッスンを1年間で約480本担当。 ・福岡スクールオブミュージック高等専修学校にて半期授業担当。 ・ASANAMANDALA YOGA TTC80Hを2回、シータヒーリング基礎&応用、筋膜リリースヨガ養成講座、チェアヨガ養成講座、アーユルヴェーダホリスティックアドバイザー ・じっくりと丁寧な誘導をおこない、自分の内側と向き合っていけるような授業に最善を尽くします。 ・ヨガのポーズにこだわることなく、無理なく、今を大切にしていけるような授業を実施いたします。 ・ヨガのポーズの実践を繰り返し、心と体の変化を探求する							
【到達目標】							
・自分自身を向き合う能力が高まり、人と比べることなく自己肯定感が増えている状態							

授業計画・内容		
1回目	【ヨガ体験】挨拶、ヨガ体験(先ずは楽しく体を動かして、一つのことに集中する時間をとる)	
2回目	【ヨガの歴史】ヨガのルーツを知る & ベーシックヨガ ができるようになる	
3回目	【呼吸法】ヨガ呼吸法の紹介 & スローヨガ ができるようになる	
4回目	【肩こり改善ヨガ】肩こりになる原因の紹介 & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
5回目	【骨盤調整ヨガ】腰痛になる原因の紹介 & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
6回目	【瞑想】瞑想とは & アドバンスヨガ ができるようになる	
7回目	【心のケア】苦悩になる考えと苦悩にならない考え & ベーシックヨガ ができるようになる	
8回目	【体のセルフケア】肩こり改善のためのセルフケア & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
9回目	【心のケア】言葉と思考の持つパワー & アドバンスヨガ ができるようになる	
10回目	【体のセルフケア】腰痛改善のためのセルフケア & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
11回目	【ヨガ哲学】八支則の紹介 & ベーシックヨガ ができるようになる	
12回目	【ヨガ哲学】継続は力なり & アドバンスヨガ ができるようになる	
13回目	【ヨガ哲学】アヒンサー(非暴力) & フローヨガ ができるようになる	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガ 総まとめ 試験予備
準備学習 時間外学習	特にありません。	
評価方法	筆記試験 100%	
受講生への メッセージ	みなさんこんにちは。ヨガのポーズをとって、呼吸をして、楽しい時間を過ごしませんか。ヨガを続けていくことで、心と体が安らぎ、人と比べることなく自分自身と向き合う時間が自信へとつながり、イキイキと輝く学生生活となりますように。と願っています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布、プリント対応。		

科目名 (英)	韓国語 I Korean Language I	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 延世大学語学堂卒業。最高級6級を取得。留学生活を送りながら生きた韓国語を学んだ講師と共に、ハングル文字の仕組みや自然な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学んでいきます。 それぞれのシチュエーションに合った韓国語を学び活かせることを目標とします。							
【到達目標】 韓国の基本的な情報を知ることが出来る。 ハングル文字の仕組みや一般的な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学ぶことが出来る。							

授業計画・内容		
1回目	アンニョンハセヨ！ ハングルの仕組み・母音について理解することができる	
2回目	韓国語の基本子音を理解することができる	
3回目	韓国語の激音と濃音について理解することができる	
4回目	合成母音について理解することができる	
5回目	韓国語のパッチムについて理解することができる	
6回目	韓国語の発音を身につけることができる	
7回目	韓国語で自己紹介ができる・「～です」の表現を学び活用できる	
8回目	否定表現について学び活用することができる	
9回目	小テスト・指示語の表現について身につけ活用することができる	
10回目	存在を表す表現について学び活用することができる	
11回目	用言の丁寧表現について身につけ活用することができる	
12回目	韓国語の否定表現を理解し活用することができる	
13回目	動詞・形容詞の丁寧表現の活用を理解することができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	週1時間程度の自己学習をお勧めします。	
評価方法	小テスト・期末テスト	
受講生へのメッセージ	韓国語を学ぶにあたって重要なポイントをわかりやすく丁寧に説明します。たくさん話し、聞くことを主にして、授業を進行します。小テストは簡単で授業をしっかりと聞けば解けるレベルです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリントを毎時間配布します。		

科目名 (英)	手話 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
	sign language I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 福岡市手話奉仕員養成講座、通訳養成講座、外部専門学校、行政機関の講師の実績がある講師が、聴覚障害者についてを理解し、コミュニケーションがとれるよう、指導します。 聴覚障害者の手話の内容を理解できたかどうかの読み書きに力を入れた指導を行ない、聴覚障害者が見てわかる、手話を表現することができることを目指します。 (自己紹介や会話など)							
【到達目標】 ・聴覚障害者と「見る言葉」としての手話を学び、手話の特徴を選択することができる。 ・聴覚障害者について意欲的に配慮することができる。 ・手話で自己紹介を表現することができる。 ・聞こえない人の呼称とコミュニケーション手段を説明することができる。 ・聴覚障害者についてを理解し、スムーズにコミュニケーションを図れる事を目指す。							
授業計画・内容							
1回目	挨拶(日常生活の中で使う手話)・第1、2講座 手の動きや表情で伝え合うことができる						
2回目	復習(挨拶・第1、2講座)・第3講座 自己紹介をしましょう -手話で名前を表現できる-						
3回目	復習(第3講座)・第4講座 自己紹介をしましょう -手話で家族を表現できる-						
4回目	復習(第4講座)・第5講座 自己紹介をしましょう -手話で数を表現できる-						
5回目	復習(第5講座)・第6講座 自己紹介をしましょう -手話で趣味を表現できる-						
6回目	復習(第6講座)・第7講座 自己紹介をしましょう -手話で仕事を表現できる-						
7回目	復習(第7講座)・第8講座 自己紹介をしましょう -手話で住所が表現できる-						
8回目	復習(第8講座)・第10講座 話してみようⅠ -1日のことを手話で話すことができる-						
9回目	復習(第10講座)・第11講座 話してみようⅠ -1ヶ月のことを手話で話すことができる-						
10回目	復習(第11講座)・第12講座 話してみようⅠ -1年のことを手話で話すことができる-						
11回目	復習(第12講座)・第13講座 話してみようⅠ -パーティのことを手話で話すことができる-						
12回目	復習(第13講座)・第14講座 話してみようⅠ -旅行のことを手話で話すことができる-						
13回目	復習(第14講座)・第15講座 話してみようⅡ -病院のことを手話で話すことができる-						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試		第16講座 話してみようⅡ -学校のことを手話で話すことができる-				
準備学習 時間外学習	・授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
評価方法	・筆記試験を実施する。 ・手話を読み書き(試験)を実施する。 ・手話発表(演技)を実施する。						
受講生への メッセージ	手話検定を含めて聴覚障害者を理解し、手話でスムーズに会話できるよう人になることを期待しています。						
【使用教科書・教材・参考書】 パワーポイントを使って、授業をします。							

科目名 (英)	宿泊業務実習 Accommodation business training	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サービス業界にて接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる							
【到達目標】 ・他の業務を知ることにより、周りとのコミュニケーション能力と周りへ配慮する意識と行動を身につけることができる ・ホテルブライダルとしての心得と施設に関する防災対応の基礎知識を知ることができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／授業の進め方・自己紹介などできる
2回目	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話対応などできる
3回目	ホテル業界について/ホテル業の特性・ホテルの種類・近年のホテル事情など理解できる
4回目	宿泊部門／業務の流れ(客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り)の基本ができる
5回目	宿泊部門／フロントオフィスの業務について 基本動作ができる
6回目	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クローク 基本動作ができる
7回目	★中間評価
8回目	ロールプレイング／フロント業務(チェックイン、チェックアウト、バッチ処理など)の基本動作ができる
9回目	ロールプレイング／フロント業務(リザーベーション、レセプション、インフォメーションなど)の基本動作ができる
10回目	ロールプレイング／コンシェルジュ業務の基本動作ができる
11回目	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識の理解ができる
12回目	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を考える。基本対応ができる。
13回目	テスト対策 「サービスのプロ」としての在り方
14回目	★期末評価
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく
評価方法	・筆記30%(中間評価)、実習試験(ロールプレイング)(期末評価)70%
受講生への メッセージ	ホテルブライダルの基礎となり、相互の関係をよりよくするためにホテルを学び、活用していただければ幸いです
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定対策 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。							
【到達目標】 ・2022年1月第4水曜日の試験に合格ができる。							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ブライダル関連業種、 第5章ブライダルのエリア特性(P40～P47) を理解できる	
2回目	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解できる	
3回目	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52～P57)を理解できる	
4回目	第2章 結納・婚約式(P58～P68)を理解できる	
5回目	小テスト(前週の復習)、 第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解できる	
6回目	第4章 キリスト教式(P71～P75)を理解できる	
7回目	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76～P83)を理解できる	
8回目	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、 第11章 二次会(P84～P91)を理解できる	
9回目	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94～P100)を理解できる	
10回目	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101～P108)を理解できる	
11回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、 第6章 プレゼンテーションの手法(P109～P114)を理解できる	
12回目	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115～P121)を理解できる	
13回目	上記授業調整日(小テスト実施)テスト対策	
14回目	★評価週	ブライダルコーディネート検定
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト解答と総復習
準備学 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生への メッセージ	・ブライダルコーディネート検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホスピタリティ業界経験及び知識が豊富な教員が、卒業後の進路選択や卒業までに身に付けておきたい心構えなどを指導していく。授業のなかでは志望業界の研究だけでなく、メンタルトレーニングや、セルフディスカバリーも実施していく。							
【到達目標】 ・セルフディスカバリーを通して、自身に必要な知識・技術等を知る。 ・就職活動を行うにあたって志望業界や企業の研究を行い、次年度以降の活動がスムーズになるよう準備することができる。							

授業計画・内容		
1回目	授業のオリエンテーション、今後の学校生活の過ごし方について確認する。	
2回目	講師との対話を通して、自身のあるべき姿を再確認することができる。あるべき姿と現状の乖離を自覚することができる①	
3回目	講師との対話を通して、自身のあるべき姿を再確認することができる。あるべき姿と現状の乖離を自覚することができる②	
4回目	10月21日実施の特別講義の振り返りを行い、得られた情報の整理ができるようになる。10月28日に実施予定の特別講義の事前学習を行う。	
5回目	10月28日実施の特別講義の振り返りを行い、得られた情報の整理ができるようになる。	
6回目	10月9日・16日に実施した内容を踏まえ、セルフマネジメント力をつけるために必要なことは何か考える。	
7回目	グループワークを通して自身の生活習慣やリズム、体調面を含めた自己管理の方法について再考する。	
8回目	自身の志望業界を考える①マインドマップを作成して自身の思考を整理することができる。マインドマップをもとに、志望業界を広げる。	
9回目	自身の志望業界を考える②前週に作成したマインドマップや広げた志望業界について調べ、自身との適性を考えワークシートにまとめる	
10回目	自身の志望業界を考える③前週までに絞った業界を踏まえ、自身に必要なスキルを明確化する。	
11回目	メンタルトレーニング①アンガーマネジメント　ロールプレイングを通して、アンガーマネジメントについて知る。	
12回目	ワークシートを通して学校生活の再確認、次年度へ向けた意識の確認を行う。	
13回目	質問紙法によるパーソナリティテストを行い、半年間の変化を知る。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度・出席50%、各種ワークシートの提出物50%	
受講生への メッセージ	土台をしっかりと完成させた状態で社会人になれるよう、授業を通してしっかり準備していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Employment course	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 昨年度の就職講座で学んだことを復習しながら、徹底した面接練習の実践を経て、社会人としての一人立ちを目指します。講義でのやり取りそのものを就活の実践と捉えることで、実際の面接で自分自身を等身大に出せる表現力を身に付けることができます。 ※実務経験について:4年大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。その後、イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事し、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。							
【到達目標】 面接において、緊張を上手くコントロールし、自分らしさを相手に伝える表現力、マインドを養う。そのために必要な発声、笑顔をマスターし、希望する企業への就職を実現させる。また就職後において必要とされる社会人基礎力を身に付ける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介・就職活動の状況分析、課題確認	
2回目	企業研究、アプローチについて エントリーシートの見直しができるようになる	
3回目	第一印象アップ、効果的な自己紹介 発声や笑顔など、表現力の基本がマスターできるようになる ～面接ロールプレイング～	
4回目	自己分析について 志望動機が明確に伝えられ、自己PRが上手できるようになる ～面接ロールプレイング～	
5回目	他者分析について 心理を読み取る手法を知ることができる ～面接ロールプレイング～	
6回目	面接の前後について 企業との連絡方法を明確にすることができる ～面接ロールプレイング～	
7回目	グループディスカッション① 課題に基づき、意見交換を行い、大勢の中での自己開示が可能になる	
8回目	グループディスカッション② 課題に基づき、意見交換を行い、多様な価値観を体感、社会の多様性の中でのコミュニケーション能力アップが可能になる	
9回目	活動報告 プレゼンテーションのポイントを習得できるようになる	
10回目	社会人基礎力を身に付ける① 社会で求められる人物像を理解することができる	
11回目	社会人基礎力を身に付ける② 職業人として知っておくべきルールを知り、即戦力になれるようにする	
12回目	ストレスケアとコントロール ストレス過多にならない過ごし方、対処法を理解し、身に付けることができる	
13回目	総復習(足りないところを補う)	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	毎回課題を設定し、クリアするための目標を設定、常に自己分析、自己表現力に触れている状況を提案していきます。面接クリアのための心構え、また表現力に欠かせない発声についてはトレーニング法を実践、次回の課題にまつわるレポートも課していきます。	
評価方法	・小テスト(30%) ・実技、または筆記(20%) ・定期テスト(50%) 割合で評価を行う。	
受講生へのメッセージ	就職活動において、面接突破がゴールではありません。その先にある社会人としてのあるべき姿、また人生100年時代においてどのように社会貢献できるのか、社会に出て、その先にある働くことの魅力、意義、人としての成長を視野に、楽しみながら学びを進めていきましょう。その応援をさせていただきます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚 campus marriage	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 昨今需要が増しているフォトウェディングについて、新しいフォトプランを考案し、スタジオネスト様に提案。 商品化を目指す。 あ・うん企画様のご協力のもと、新型コロナウイルスの影響で、婚礼を延期を余儀なくされている新郎新婦様に向けて、フォトウェディング(前撮り)を提案する。 学生とフォトウェディングをすることのメリットをお2人にプレゼンテーションし、自らの力でお客様との契約を目指す。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたフォトプランを企画立案し、提案すること。 フォトウェディングのお客様の成約と当日まで企画・運営。							

授業計画・内容		
1回目	本プロジェクトの経緯と目的が理解できる / 対象お客様のご紹介	
2回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる① / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
3回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる② / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
4回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる③ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
5回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる④ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
6回目	（予定）（6回目）1組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
7回目	（予定）（7回目）2組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
8回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
9回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
10回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
11回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
12回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
13回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
14回目	★評価週	※フォト撮影は9～10月頃でしょうか。
15回目	★まとめ・追試/再試	後期は経験を踏まえて、スタジオネスト様と商品化へ向けての企業プロジェクトとする
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート	
受講生への メッセージ	お客様のご都合に合わせて、打合せを組んでいきます。 お客様にもお仕事や普段の大切な生活があります。 打合せが土日に入る場合もありますので、クラスメイトと協力しながらお客様の記憶と記録に残る1日を作りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホスピタリティ業界出身の講師が、アクティブラーニング(能動的学習)形式で、正解のない課題に対して仮説をたてて情報編集力を高める授業を、グループワーク、ブレストを通して展開していきます。							
【到達目標】 一番の目標は、社会から求められる人材になること、企業で希少性の高い社会人になることを目指します。どのようなときでも、ピンチは「力」になることを信じて、前向きに挑戦できる社会人になります。							

授業計画・内容		
1回目	シラバスを使って授業の進め方、講師の自己紹介、学生の就職活動と自己紹介。	
2回目	就職と就社の違い、学生と社会人の違いを知ることができる。	
3回目	接遇5原則の誕生秘話、接遇と接客の違いを知ることができる。	
4回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
5回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
6回目	自己PRと強みの違いを知ることができる。	
7回目	会社に入社して何をしたいのか考えることができる。	
8回目	気になるニュースの選び方を知ることができる。	
9回目	文章の作り方や構成についてを学び、小論文と作文の違いを知ることができる。	
10回目	クッション言葉と肯定的否定語、接客用語について知ることができる。	
11回目	実践を通して職場内で使われる用語を知ることができる。	
12回目	実践を通して礼状の書き方を身につけることができる。	
13回目	実践を通して、敬語を学ぶことができる。	
14回目	★評価週	模擬授業(一人ひとり実践)
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	「一勝九敗」これはユニクロの会長兼社長の柳井氏の言葉。9敗の後に1勝が導かれる、その為に9敗の敗因分析が一番大切であると。就職試験直後の受験レポート、報告は「Plan,Do,See,Check」につながるの、しっかりメモをすぐにとって提出してください。	
評価方法	出席50% 期末テストの内容50%	
受講生への メッセージ	シラバス通りに授業をすすめていきますが、皆様のリクエストにもしっかり応じていきますので、順不同になることもありますのでご理解の程よろしくお願 いいたします。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルシステム Bridal system	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ウェディングプランナーとして、ハウスウェディング会場で新規接客から施行、宴席運営、当日アテンドまでを対応。新人研修やスタッフ育成に従事。その後専門式場でオープニングスタッフとして式場立ち上げに携わる。今なお現場で、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。 ハウスウェディング、専門式場、ホテルによって異なる接客の違い、「今」のお客様が求めるウェディングスタイルや、その提案、新規接客から当日を迎えるまでの実務のポイントを含めシステム入力を中心としながら、プランナーとして必要なコミュニケーション力、ヒアリング力、提案力を身に着けることができるよう、現場で活躍できる人材を育成します。							
【到達目標】 (授業内容) ブライダルシステムを使用したプランナー実務。 成約～打ち合せ～当日施行までの業務 (到達目標) ブライダルシステムの仕様を理解し、プランナー実務の・新規接客・打ち合せ業務の内容を理解し 施行前後の担当業務を知り、取得する。							

授業計画・内容		
1回目	後期授業内容とシステム(Wow!Bridal B版)説明。 ブライダルアンケートの記入、必要性を理解し接客することができるようになる。	
2回目	招待客リスト、会場レイアウトを作成することができる。	
3回目	席次表の配席方法、注意点を理解し作成することができる。お客様へ配席方法を説明することを身につける。	
4回目	席次表を完成させる。 お客様に合わせたスタイルの提案力を身につける。	
5回目	進行表、セッティング表を作成することができる。	
6回目	各種項目の手配を確認する。宿泊、バス、受付の依頼における確認と注意事項を把握することができる。	
7回目	(担当施行業務①)施行1ヶ月前 / 席次表、セッティング表、進行表の完成と内容を理解することができる。	
8回目	(担当施行業務②)施行2週間前 / 出欠変更についての対応、当日の流れを設定し、新郎新婦の準備物確認、案内することができる。	
9回目	(担当施行業務③)施行1週間前 / お荷物の預かり、人数最終確認、手配物の最終確認、支払い案内ができる。	
10回目	(担当施行業務④)施行当日 / 手紙、指輪のお預かり、電報確認、祝儀管理、宴後荷物の返却など業務内容を理解することができる。	
11回目	(担当施行業務⑤)施行後 / 施行後の業務を確認、内容を理解できる。 請求書発行から入金案内確認までの流れを把握できる。	
12回目	お客様に合わせた見積りの作成、提案について知ることができる。	
13回目		後期内容の振返り ・ 質疑応答
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	前期の内容を理解し、婚礼費用の価格帯(前期配布プリント)を把握しておきましょう。	
評価方法	期末テスト(筆記試験)100%	
受講生へのメッセージ	後期は、席次表、セッティング表、進行表を作成し、施行1ヶ月前から施行後までプランナーが行う業務について具体的に学習していきます。卒業前の後期です、実際のエピソードも入れながら現場で役立つ授業を目指します。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ブライダルシステム「Wow!Bridal B版」		

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	プライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホスピタリティ業界出身の専任講師が、キャリア教育を通して社会人基礎力を身につけ、自己理解を深め、進路選択を明確にしていきます。							
1、明確な目標設定を行うことで、『なりたい』を『なれる』にするスケジュール管理ができるようになる。 2、就職活動で必要不可欠である、自己分析を段階を得てしっかり行い、自分の強みを知り、面接対策ができる。 3、コミュニケーションスキルの重要性を習得できる。							
【到達目標】							
・段階を得た自己分析を行い、自分の強みを客観的に捉えることができる ・接客に必要なマナーを習得し、面接の場で活用できる ・コミュニケーションを円滑に行うことができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	学校生活・私生活について、就職活動の心得を理解する
3回目	目標設定 マンダラートを活用した明確な目標設定を行うことができる
4回目	自己分析 ①自分史作成を行い、客観的に自分と向き合うことができる
5回目	自己分析 ②長所の抽出(リフレーミングを活用し表現力のスキルを身につけることができる)、趣味・特技を表現できる
6回目	自己分析 ③エニアグラム診断・分析を使用し、自己価値を理解することができる
7回目	自己分析 ④エゴグラム診断・分析を使用し、コミュニケーションスキルを身につける
8回目	自己分析 ⑤自己PRを作成することができる /企業・職種研究発表を行い、理解を深めることができる
9回目	他己分析 ジョハリの窓を活用し、客観的に自分を理解することができる
10回目	接客に必要なCS5原則を理解し、身に付けることができる
11回目	基本的な対話スキル ①言葉遣い・敬語のスキルを身につけることができる
12回目	基本的な対話スキル ②傾聴・話し方のスキルを身につけることができる
13回目	コミュニケーションスキルを身につける (アンガーマネジメント、報連相、PREP法)
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	アソシエイト ホスピタリティ コーディネーター	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Associate Hospitality Coordinator	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科全員					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】 ①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得する。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業の説明 京王プラザホテルのホスピタリティ動画を視聴し感動を与えるホスピタリティを理解することができる	
2回目	日本のおもてなしやサービスとホスピタリティの違いと語源を理解することができる	
3回目	ザ・リッツカールトンの動画を視聴し、クレドとミスティークを理解し現場で生かすことができる	
4回目	組織と社員(従業員)のホスピタリティ ゴールデン・サークル理論から学ぶリーダーシップを理解することができる	
5回目	①ホスピタリティの実践(笑顔、身だしなみ、立ち居振る舞いなど)プロとしての雰囲気作りを習得できる	
6回目	②ホスピタリティの実践(話し方、言葉遣いなど)プロとしての雰囲気作りを習得できる	
7回目	効果的な「傾聴」を実践と動画から学び、取得できる	
8回目	①「相手の立場に立つ」ことの理解:動画を視聴し、障がい者差別解消法や心のバリアフリーの理解を深めることができる	
9回目	②「相手の立場に立つ」ことの理解:異文化コミュニケーションの特徴を理解し、外国人へのホスピタリティや、やさしい日本語の使い方を習得することができる	
10回目	クレーム対応の動画を視聴し、お客様の心理や対応を理解し実践することができる	
11回目	①コンプライアンスを学ぶ:セクハラやパワハラについて動画を視聴し、正しく理解することができる	
12回目	②コンプライアンスを学ぶ:個人情報保護法、労使協定について動画を視聴し、正しく理解することができる	
13回目	SDGsについて理解をし、私たちにできるホスピタリティについてアウトプットできる(レポートをまとめる)	
14回目	★評価週	※レポート提出日
15回目	★まとめ・追試/再試	まとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、「相手の立場に立つ」ことや「相手の心に寄り添う」ことを意識し行動することで身につけてきます。時間があればホスピタリティに関する書籍を自ら進んで読むことや感動体験を積むなど、日頃から感性を磨いてください。	
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」(2,000字以上／Word作成)提出・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートですので、必ず期限を守って提出してください。 ※レポート作成にあたって、書き方やWordの書式など細かいルールがあります。授業の中で詳しく説明しますのでルールはしっかり守ってください。	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。ホスピタリティは、どの業界においても必要とされており、今回のコロナウィルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティを“見える化”し、イメージしやすいような様々な事例や動画を視聴し、理解を深めていきます。本講義でぜひ、自分が日ごろ無意識に行っている行動や言動を振り返り、「相手の立場に立つ」ことの重要性を確認しながら受講してください。授業で習ったことはすぐに実践するなど、社会全体にわたるホスピタリティ文化を広げてください。授業で配布された資料はファイリングするなど各自で保管してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
教科書：ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会 参考書：図解版ホスピタリティの教科書／林田正光 著		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定 I Bridal coordination test	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、ブライダルの基本知識をブライダルコーディネーターテキストに沿って国家資格の3級合格を目指す指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界にてプロデュース業25年以上のキャリア。							
【到達目標】 ・2022年1月中旬のブライダルコーディネイト検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルコーディネーターとは、結婚とは、第1章 結婚の定義（P1～P11）を理解することができる	
2回目	第2章 日本の結婚式・歴史と文化（P12～P21）を理解することができる	
3回目	第3章 欧米の結婚式・歴史と文化（P22～P32）を理解することができる	
4回目	Lesson② ブライダルビジネス 第1章～第6章（P34～P49）を理解することができる	
5回目	Lesson③ ブライダルの基礎 第1章～第2章（P52～P68）を理解することができる	
6回目	第3章 ブライダル準備 第4章～第5章（P69～P79）を理解することができる	
7回目	第6章 仏前式、第7章 人前式、第8章～第11章（P80～P91）を理解することができる	
8回目	Lesson①～Lesson③までのまとめの中間テスト&解答	
9回目	Lesson④ コーディネーター業務 第1章、第2章（P94～P106）を理解することができる	
10回目	第3章 ブライダルセールスの特徴、第9章 ペーパーワーク（P107～P121）を理解することができる	
11回目	Lesson⑤ 打ち合わせ業務 第1章～第4章 Lesson⑥（P124～P137）を理解することができる	
12回目	〈6〉洋装のラッキーアイテム～3、4 和装の基本（P138～P153）を理解することができる	
13回目	第4章 ヘアメイク・ネイルアート～、第5章 会場コーディネート（P154～P164）を理解することができる	
14回目	★評価週	Lesson④～Lesson⑥の総テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	第7章 ペーパーアイテム、第9章 披露宴演出（P165～P176）
準備学習 時間外学習	・授業計画が予定通り遂行できなかった場合、後期に補習授業を希望する。	
評価方法	・学科 中間テスト 50% 期末テスト 50%	
受講生への メッセージ	・2年間でのテキストの理解を深め、検定合格を目指してほしい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定Ⅱ Bridal coordination test	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、ブライダルの基本知識をブライダルコーディネーターテキストに沿って国家資格の3級合格を目指す指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界にてプロデュース業25年以上のキャリア。							
【到達目標】 ・2022年1月中旬のブライダルコーディネイト検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルコーディネート検定2020年度問題の解答と解説(筆記問題)を理解することができる	
2回目	ブライダルコーディネート検定2020年度問題の解答と解説(実技問題)を理解することができる	
3回目	前期の振り返りを理解することができる	
4回目	Lesson④コーディネーター業務を理解することができる(P94～P100)	
5回目	第2章 新規業務を理解することができる(P101～P106)	
6回目	第3章 ブライダルセールスの特徴、第4章 ホスピタリティ営業を理解することができる(P107～P110)	
7回目	中間テスト対策	
8回目	中間テストと解答	
9回目	第5章 プランニング、第6章 プレゼンテーションの手法、第7章 新規アフターフォローを理解することができる(P111～P116)	
10回目	第8章 成約業務、第9章 ペーパーアイテムを理解することができる(P117～P121)	
11回目	Lesson⑤打合せ業務(第1章～第4章)を理解することができる(P124～P128)	
12回目	Lesson⑥コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定を理解することができる(P130～P131)コラージュ作成	
13回目	第2章衣装選定 洋装のドレスラインを理解することができる(P132～P141)	
14回目	★評価週	期末試験対策で合格点を取ることができる
15回目	★まとめ・追試/再試	期末試験の解答を理解することができる
準備学習 時間外学習	・特になし	
評価方法	・筆記 中間テスト 50% 期末テスト 50%	
受講生への メッセージ	・2年間でブライダル検定での基礎を学び、合格に結び付けてほしい。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	campus marriage	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	水曜日1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プランナーとしての目線だけではなく、接客業全般に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力の知識についても学んでいただきます。 インプットをメインで進めてまいります。 お客様のタイプ別に合わせた接客も必要となるため、その違いについても学んでいただきます。 また、時代に沿った接客スタイル(リモート接客)についての内容も取り入れてまいります。 ※実務経験 法人営業やホテル・ブライダル業界10年以上キャリア。現在はウェディングプランナー育成に携わっている。							
【到達目標】 接客をする際のストーリーを組み立てることができる リモート接客についてのポイントを身につけることができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション(授業内容の説明・自己紹介をプレゼン風に)	
2回目	1年次で学んだ結婚式の打ち合わせの流れを復習	
3回目	ヒアリング能力・コミュニケーション能力(営業で刺さる5つのコミュニケーション)について学ぶことができる	
4回目	クロージング能力・課題分析能力(ポイント)・時間効率化能力について学ぶことができる	
5回目	求められる5つの基本能力(①プレゼンテーション能力②ヒアリング能力)について学ぶことができる	
6回目	求められる5つの基本能力(③コーディネート力④営業力⑤問題解決能力)について学ぶことができる	
7回目	中間テスト	
8回目	①リモート接客方法について学ぶことができる	
9回目	②リモート接客方法について学ぶことができる	
10回目	新規接客(ヒアリングの大切さ・成約率)について学ぶことができる	
11回目	成約率をアップする8つの力について学ぶことができる	
12回目	条件をもとにコラージュを作成することで、提案力を学ぶことができる	
13回目	新郎新婦・両親・ゲストの不安や悩みとして考えられる事を知り対策を考えることができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト返却・フィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%	
受講生への メッセージ	どんなお客様でも対応できるような対応力を身につけ、ウェディングプランナーを目指すために、 まずは皆さんが楽しみながら接客全般について学び、身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	JMA検定2級	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	
	JMA test level 2	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科選択					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル現場、サロン、舞台、ショーなどでフリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA2級検定に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
【到達目標】 JMA2級合格に必要なメイク知識、技術を習得できる。 メイクの基本技術を向上させ、ブライダルの現場で生かせるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	JMA2級検定について理解し、必要な知識を習得できる。	
2回目	スキンケア実技 スキンケア実技を復習し、実践できる。	
3回目	2級ベースメイク実技 2級のベースメイクの手技を習得し、実践できる。	
4回目	スキンケア～2級ベースメイク実技、チーク、ハイライト、ローライト復習 前回内容の復習をし、より美しく仕上げることができる。	
5回目	2級アイブロウ実技 2級アイブロウの描き方を知り、実践できる。	
6回目	スキンケア～2級ベースメイク、アイブロウ、チーク、ハイライト、ローライト実技 復習をし、前回より美しく仕上げることができる。	
7回目	2級アイメイク実技 2級アイメイクの方法を知り、実践できる。	
8回目	スキンケア～2級ベースメイク、アイブロウ、アイメイク、チーク、ハイライト、ローライト実技 復習をし、前回より美しく仕上げることができる。	
9回目	2級リップ実技 2級リップの描き方を知り、実践できる。	
10回目	JMA2級内容実技 検定内容を実践できる。	
11回目	ポイントメイク強化 アイブロウ、アイメイク、リップ、チークの苦手部分を克服できるようになる。	
12回目	JMA2級内容実技 検定内容を時間内に実践できる。	
13回目	JMA2級内容実技 検定内容を時間内により美しく仕上げることができる。	
14回目	★評価週	定期テスト JMA2級内容
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り、苦手部分を克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	授業外でも練習をして臨んでください。	
評価方法	定期試験100点満点 検定試験と同様の内容で評価します、手順、手技があっているか、左右対称に仕上がっているか、美しい仕上がりになっているか等、総合的に評価します。	
メッセージ	3級に続き、さらなるレベルアップの検定となります。基本中の基本のテクニックばかりで、しっかり練習することで、メイクの基礎知識、基礎テクニックが飛躍的に向上します。意識を高く持って、頑張りましょう。授業以外の時間でも練習をしたり、イメトレをしたり、デッサンをしたり、意欲をもって取り組んでください。 期待しています。	
【使用教科書・教材・参考書】 JMA教科書		

科目名 (英)	カメラワーク&テクニック	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Camera work & technique	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影やその選定方法についての授業を実施します。							
【到達目標】 撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。 撮影された写真を理解し選定することができる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、この授業の目的について	
2回目	写真を選定するにあたって、いい写真とは何かを考えることができる	
3回目	構図と画面比率について理解することができる	
4回目	写真のメタ情報について理解することができる ファイル情報共有を行うことができる	
5回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
6回目	焦点距離について理解することができる	
7回目	絞りとシャッター速度について理解することができる	
8回目	露出について理解することができる	
9回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
10回目	人物撮影のポイントについて理解することができる	
11回目	Rawファイルとレタッチの効果についてについて理解することができる	
12回目	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解することができる	
13回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
14回目	★評価週	写真選定と撮影技術についてのテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り
準備学習 時間外学習	なし	
評価方法	テストにて判断	
受講生への メッセージ	昔は特別な体験だった写真撮影が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本校にて多くの卒業生の就職講座を担当してきた教員による、就職活動に向けた基礎講座を行います。 学生主導によるグループワークを通じて企業研究と発表を実施。企業選びもグループディスカッションアンケートによって10社を選考していく							
【到達目標】 徹底した企業研究と完成度の高い志望動機作成が出来るようになる。							

授業計画・内容		
1回目	今後のスケジュールを確認して企業10社の選び方、研究の仕方を話し合い、方向性を決めることが出来る。	
2回目	ブライダル総合科の学生をグループ分けし、企業研究の仕方や期日を決めていくことが出来る	
3回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る①	
4回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る②	
5回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る③	
6回目	企業研究上での課題の発見と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る	
7回目	中間発表（資料作成）が出来る。	
8回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る④	
9回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑤	
10回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑥	
11回目	企業研究発表での問題点と調整を行い翌週の発表につなげる事が出来る	
12回目	企業研究の発表会を実施できる	
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し、角度の高い志望動機を作成できる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	出席日数 50% 研究発表内容50%	
受講生へのメッセージ	初めての試みですがチャレンジしていきましょう。皆さんのアイデアがとても頼りですので宜しくお願いします。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ジュエリー&アクセサリー Jewelry & accessories	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ジュエリーとはブライダルジュエリー(婚約指輪、結婚指輪)は、ジュエリーの中でもお客様にとって結婚という一生に一度の特別な位置づけがあります。大切なジュエリーを扱うには、消費者の信頼と満足が得られることが重要だと考えられます。そのためには、基本的なジュエリー概論、ジュエリーの歴史、ジュエリーに使用される貴金属の特性。ダイヤモンドの種類や知識。鑑定書や鑑別書について。製造、加工、修理の基礎知識。誕生石や現在のブライダルジュエリー業界の現状。接客の方法など。ブライダル関連の職に就いた際に、初めてでも安心して接客できるような正しい知識を身に付けていきます。							
【到達目標】 ジュエリーの基礎知識を理解し、対面で説明できるようになることを意図します。 (具体的な目標) ①ジュエリー概要の基礎として、ジュエリーの歴史、ジュエリー産業の概略を理解している。 ②宝石とはなにかを理解し、ダイヤモンドの特徴と品質や価値(4C)について、貴金属の品位の種類などの基礎を理解している。 ③ジュエリーの製造工程の一連の流れや商品知識(各部位の名称)を理解している。 ④販売の基礎知識(一般的な対面販売の流れ)、心構え、接客(ブライダルに関して)進め方を理解している。							

授業計画・内容		
1回目	ジュエリー概論。ジュエリーの定義。発生や発達、歴史について学びます。	
2回目	ジュエリーの産業の流通構造について・近年のブライダルジュエリーについて	
3回目	宝石の基礎知識・天然石のその処理、鑑別書と鑑定書については説明できるようになる	
4回目	ダイヤモンドの歴史、形成と産地。性質、4Cを理解し、説明できるようになる	
5回目	主なカラーストーン、誕生石、合成や処理について（モース硬度など）鑑別書の表記などについて理解する	
6回目	貴金属とは。ジュエリーに使用する貴金属の意味、金・プラチナ・シルバー品位。割り金、金性について。アレルギーなど理解する。	
7回目	中間テスト	
8回目	真珠について（日本を代表する宝石）真珠の歴史、真珠のメカニズム、お手入れなど理解する	
9回目	ジュエリー製造・加工・修理の基礎知識。デザインの基礎。商品開発の流れ、プロセスを理解する。（工具や材料など実際に見る）	
10回目	商品概論、商品知識、基本デザイン、種類、分類各部位の名称や呼称などを理解する。	
11回目	ジュエリー販売の基礎、販売員（ジュエリーコーディネーター）の役割、消費者の購買行動、接客技術などを理解する	
12回目	宝石の勧め方、実践ロールプレイング（結婚指輪カップル・婚約指輪男性のみ）	
13回目	販売実践復習、全体まとめ	
14回目	★評価週 期末テスト	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	予習は特に必要ありませんが、毎回配布するプリントテキストで授業を進めていきます。 目標①前授業の理解の確認のため、小テストを行う場合があります。その際には復習が必要です。 目標②販売の基礎知識後、ロールプレイングで販売の練習を行いますので、復習が必要です。	
評価方法	●中間テスト(30%) ●期末テスト(70%) の割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ	美しいジュエリーは誰もが一度は身に着けたい憧れの存在。私はジュエリーを通してお客様から様々な感動を頂いて参りました。プロポーズをするために勇気を振り絞って指輪選びをする男性や赤ちゃんが生まれた時の記念日、頑張っている自分へのご褒美だったり、人生の節目や大切なシーンに選ばれるジュエリーは何か特別な存在だと感じています。ブライダルコースの皆様は、お客様の幸せのお手伝いができる仕事に就きたい気持ちで学ばれている事でしょう。高価なジュエリーだからこそ、正しい知識や専門的知識を持つ事で自信や信用にも繋がっていき、素敵な仕事になると思います。積み重ねた経験が一番ですが、皆様が社会に出た時、現場で即、役に立つ授業にしていきたいと思っています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書:ジュエリーコーディネーター検定3級 一般社団法人 日本ジュエリー協会 参考書:価値がわかる宝石図鑑 著者 諏訪恭一		

科目名 (英)	トータルコーディネイト実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Total coordinate taining	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 披露宴会場コーディネイトの授業を担当して20年以上の経験を持つ講師が担当。テーブルコーディネイトの基本パターンとテーブル上の決まり事を学ぶ。披露宴会場でのテーブル演出を知り、最新トレンドを含めてお客様への提案力を養います。							
【到達目標】 テーマにあった披露宴会場のテーブルコーディネイトの提案ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(授業の流れと全体説明) コーディネイトの3要素(色・素材感・デザイン)について
2回目	コーディネイトパターン ロマンチック&ブリティーの3要素を学び コーディネイトファイル作成
3回目	テーブル上の決まり事(パーソナルスペース・パブリックスペース) 前週のコーディネイトファイルの完成
4回目	コーディネイトパターン エレガントの3要素を学びコーディネイトファイル作成
5回目	テーブル上の決まり事(テーブルセッティングの順番) 前週のコーディネイトファイルの完成
6回目	コーディネイトパターン シンプルの3要素を学びコーディネイトファイル作成
7回目	テーブル上の決まり事(グラスの名称と並び方) 前週のコーディネイトファイルの完成
8回目	コーディネイトパターン ナチュラルの3要素を学びコーディネイトファイル作成
9回目	テーブル上の決まり事(テーブルクロスとナフキンについて) 前週のコーディネイトファイルの完成
10回目	コーディネイトパターン モダンの3要素を学びコーディネイトファイルの作成
11回目	コーディネイトパターン ゴージャスの3要素を学び、コーディネイトファイル作成できる
12回目	テスト前対策 (復習とファイルの完成)
13回目	★評価週 筆記試験とコーディネイトファイルの提出
14回目	★まとめ・追試/再試 コーディネイト提案企画書を作製
準備学習 時間外学習	コーディネイトファイルは授業内時間で出来上がらなかった場合は各自で完成させておくこと
評価方法	期末テスト70% コーディネイトファイル提出30%
受講生への メッセージ	お客様のニーズに合わせたコーディネイトプランが提案できるようになることを目指して学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ゼクシィなどの結婚情報誌とA4ファイルを用意してください。	

科目名 (英)	トータルビューティ Total Beauty	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界にてヘアメイクアップアーティストとして実績のある専任教員が、 2年生の後期では①接客に繋がるコミュニケーション能力を高める②高い技術力を身に付ける。この2点を伸ばし、適切な進路選択ができるようにします。							
【到達目標】 お客様の気持ちになって、技術でも接客でも主体的な行動が出来る。							

授業計画・内容		
1回目	【座学】肌の構造、肌質を学ぶことが出来る。	
2回目	①ポイントクレンジングを習得することが出来る。(フルメイクした状態で臨むこと)	
3回目	②【小テスト】ポイントクレンジングを習得することが出来る。(フルメイクした状態で臨むこと)	
4回目	①顔全体のクレンジングを習得することが出来る。(ポイントメイクは落としベースメイクした状態で臨むこと)	
5回目	②【小テスト】ポイントクレンジング～顔全体のクレンジングを習得することが出来る。(フルメイクした状態で臨むこと)	
6回目	①フェイスマッサージを習得することが出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)	
7回目	②【小テスト】フェイスマッサージを習得することが出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)	
8回目	①フェイスマッサージ～ホットタオルで拭き取りを習得することが出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)	
9回目	②【小テスト】フェイスマッサージ～ホットタオルで拭き取りを習得することが出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)	
10回目	①化粧水、乳液を使用し「整肌」を習得することが出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)	
11回目	②【小テスト】化粧水、乳液を使用し「整肌」を習得することが出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)	
12回目	①ポイントクレンジング～整肌まで全行程を通して出来る。テストに向けて練習。(フルメイクした状態で臨むこと)	
13回目	②【小テスト】ポイントクレンジング～整肌まで全行程を通して出来る。テストに向けて練習。(フルメイクした状態で臨むこと)	
14回目	★評価週	50分でポイントクレンジング～整肌まで全行程を通して出来る。
15回目	★まとめ・追試/再試	ヘッドマッサージ、セラピーメイクを習得出来る。(ノーメイクの状態で臨むこと)
準備学習 時間外学習	②で毎回、小テストを実施します。小テストに向けた準備を各自行ってください。 【毎時間の持参物】…フェイスシールド、メイクボックス、ポイントメイククレンジング、クレンジングローション、化粧水、乳液、白フェイスタオル3枚、ボックスティッシュ、コットン、綿棒。コットンに染みこませるためポイントメイククレンジング、クレンジングローション、化粧水は、液状のものを持参してください。※ジェルやクリームは不可。 【身だしなみ】…爪は毎回、短く整えましょう。ジェルネイルは可ですが、3Dは不可です。ポイントクレンジングの行程があるのでまつ毛のエクステーションは後期授業開始前までにオフして下さい。	
評価方法	小テスト(30点)と期末テスト(70点)の合計で評価(出席日数は含めない)	
受講生へのメッセージ	今回も相モデルでの実習となる授業のため、遅刻や欠席は出来るだけせず臨んで下さい。カウンセリングにも力を入れた授業です。お客様の心に寄り添ったカウンセリング力と技術力、どちらも身に付けて『ワンランク上の自分』を目指してください！！一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト		

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎Ⅰ Dress styling basicsⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてブライダルスタイリストとして社内のインストラクター資格を取得し、新人教育を担当した実績がある教員が、ブライダルスタイリストとは何か、基本的な知識を身に付け、基本的な試着ができるようになる。 ※TAKAMI BRIDALにて8年ドレススタイリストとして勤務、アシスタントマネージャー/インストラクターとして新人教育に携わる							
【到達目標】 コスチュームの名称を覚え、トータルコーディネートできるようになる。 ドレス・タキシードの試着ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	スタイリストとは？仕事内容と基本的な衣裳の種類を学ぶ(ドレス・タキシード・和装・列席衣裳)	
2回目	ドレスとタキシードの小物の名称と使用方法を学び、説明ができるようになる	
3回目	マネキンにドレスを着せることができるようになる	
4回目	人にドレス・タキシードを着せることができるようになる(アクセサリー・ベールまで)	
5回目	ドレスについての素材や色・ライン等ドレスの基礎を理解する	
6回目	新郎・新婦の和装について代表的な素材や色・柄名を説明できるようになる	
7回目	中間テスト(筆記・実技)	
8回目	中間テストの答案返却とその解説(時間が余れば今までの復習)	
9回目	タキシードについてメンズフォーマルルールと基本的なスーツのラインを説明できるようになる	
10回目	ドレス・タキシードのつくりを理解し、サイズ展開を学ぶ	
11回目	和装の見せ方、畳み方、取り扱い方の実習をし理解する	
12回目	新郎・新婦のバランスを考えたコーディネートができるようになる	
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習	
14回目	★評価週	筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験・期末試験(筆記・実技)	
受講生への メッセージ	ブライダルにおいて衣裳は欠かせない存在です。 スタイリストの楽しさや基本知識を一生懸命伝えていきますので一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します		

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎Ⅱ Dress Styling BasicsⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてファッションスタイリストとして新人研修を担当した実績のある専任教員が、接客をメインとしたロープレ実習を行い、接客の流れや言葉遣い、立居振舞が身に付く様に指導致します。接客だけでなく、1件の結婚式を施行するに辺りパートナー企業様とのコミュニケーションや連携する事の大切さについても指導致します。 実務経験 全日本ブライダル協会 & 桂由美ウエディングシステムセミナーのブライダルファッションスタイリストの資格を頂きました。 【到達目標】 接客を通して、言葉遣いや立居振舞を身に付け現場で即戦力になることが出来る							

授業計画・内容		
1回目	スタイリスト(衣裳店)の業務内容の復習とパートナー企業との連携について理解する事が出来る	
2回目	カウンセリングのロープレを通してお客様の要望を聞き出す事が出来る	
3回目	先週のカウンセリングを元に、お客様の要望を反映させた衣裳提案が出来る	
4回目	試着のロープレを行い、コーディネートが出来る	
5回目	試着のロープレを行い、コーディネートが出来る(先週とコーディネーター役とお客様役を交代する)	
6回目	商談について。見積もりのご提示や契約に至るまでの話の流れを理解する事が出来る	
7回目	先週の商談のロープレを行い、流れを習得する事が出来る	
8回目	初回来店→挙式までに行う打ち合わせの内容と、スケジュールの組み方、最終書類の作成や必要性を理解する事が出来る	
9回目	参列者の衣裳の種類やフォーマルルールを理解しご提案出来る(モーニングコートの着用をロープレも行います)	
10回目	ドレス・タキシードの提案がより丁寧に専門用語等も取り入れて深みのあるドレス紹介が出来る(素材や技法についても再度復習する)	
11回目	当日のトラブルやクレーム対応について理解する事が出来る(対応方法のロープレ)	
12回目	衣裳の組み合わせ(新郎・新婦様のコーディネート)について、バランスを考えた提案が出来る	
13回目	次週の実技試験の内容の説明と練習を行います	
14回目	★評価週	実技試験(接客)の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	半年間のまとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	ブライダルの接客を通して、お客様の事を考え気遣いの出来る社会人になって欲しいです。また、一緒に仕事をするパートナー様との繋がり等も学び、社会の流れを意識して受講して頂ければ幸いです。	
【使用教科書・教材・参考書】 学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。(その他必要資料はプリントを配布致します。)		

科目名 (英)	ドレスデザイン Dress design	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション・アパレル業界で企画や製造等を担当し、服飾デザイン・製作に関する知識を有する教員が、ウエディングドレス製作の実習授業を実施する。							
※実務経験 メーカーにて製品の企画、デザイン、製造に携わる							
【到達目標】 ウエディングドレスのベースの完成。 実際の製作を通じて、ウエディングドレスのデザイン、素材や構造、取り扱いなどが理解できるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	ドレスのイメージデッサン（製作するドレスのイメージを具体化できる）	
2回目	製作内容の説明、資材及び道具の配布と確認。型紙の裁断。（製作手順を理解することができる）	
3回目	材料（生地）の裁断と印つけ。素材への理解を深めることができる	
4回目	ドレス製作（身頃表地、身頃裏地の縫製ができる）	
5回目	ドレス製作（スカート表地の縫製ができる）	
6回目	ドレス製作（スカート裏地の縫製ができる）	
7回目	ドレス製作（表・裏スカート裾の始末ができる）	
8回目	ドレス製作（見返しの縫製ができる）	
9回目	ドレス製作（身頃とスカートを縫い合わせることができる）	
10回目	ドレス製作（ファスナーをつけることができる）	
11回目	ドレス製作（表地、見返し、裏地を縫い合わせることができる）	
12回目	ドレス製作（ボーンを取り付けることができる）	
13回目	仕上げ（裏地を表地に止め付ける作業ができるようになる）	
14回目	★評価週	仕上げ（スプリングホック・スナップボタン・吊り紐の縫い付け、スカート裾のループ留めができるようになる）
15回目	★まとめ・追試/再試	仕上げプレス、全体の仕上がりの確認と試着
準備学習 時間外学習	後期授業で実施する、オーバードレス、デコレーションなどベースへのアレンジ製作の内容の検討（どんなデザイン、カラーにするか、どのドレスを使ってアレンジするか）	
評価方法	製作物の提出	
受講生へのメッセージ	1着のドレスを製作するのは大変なことと思いますが、1年次で習得した手縫いの技術がさらに磨かれ、ドレスのデザインや素材への理解が深まることで、実際のお仕事に必ず活かせる経験となることと思います。完成したドレスの姿をイメージしながら、目標を持ち受講していただけたら幸いです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
製作の手順をまとめた資料を準備します。		

科目名 (英)	ドレスデッサン Dress drawing	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ドレスをはじめ、ドレスに付随する小物などを描写し、美的感覚を養い、色彩感覚を身につけることができる。 色の使い方の基本を理解し、実践できるようになる。 デザインや絵の仕事をフリーで行う。講師としては、高等専修学校や専門学校にて、レッスンをを行う。5年目。							
【到達目標】 考えついたデザインを思うように描けることで、現場での接客力/提案力を身に付ける 絵を上手になるより、色彩感覚を身に付けることができる							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、ドレスデザインとは、作品例を見ながら道具説明の役割を知ることができる	
2回目	ドレスデザインの基本練習、鉛筆で下書き、バランスの良い構図の書き方を習得する。(鉛筆の硬さの使い分けができる)	
3回目	写真と手描きデザイン図の違い、ドレスデザインをするとき人体比率(基本10頭身長以上)、見本を見ながらモノクロのライオンでスタイル良く描くことができる。(鉛筆)	
4回目	体のパーツを描く練習、(手、脚、髪方、顔)骨と筋肉の形を知り、動きやポーズに合わせてよりドレスを美しく見せる描き方を理解する。(鉛筆)	
5回目	モデルポーズの描き方、重心をブレずに、美しくバランスの良い構図をし、3ポーズ以上を描くことができる。	
6回目	着色、(肌色)モデルになる人体の着色。色の使い分けや筆技で人種や年齢を表現することが出来る。	
7回目	ドレスデザインは想像力が欠かせない、布生地 of の質感重さ、アクセサリー装飾品まで仮想し、センス良くデザイン図を描くことができる。	
8回目	課題練習1、テーマを決めて、ドレスデザインを描く練習する。	
9回目	課題練習2、季節感のあるモチーフを採り入れてテーマを決めてドレスデザインを描く。	
10回目	課題練習3、場面をセッティングし、ヘアスタイルから布生地 of の素材、アクセサリーまでデザインを描く。	
11回目	課題練習4、テーマ、季節、ドレスになる布生地 of の素材までセッティングしドレスデザインを描く。	
12回目	課題練習5、生徒同士テーマを出し、短時間でヘアスタイルから装飾品やアクセサリー、ドレスの質感までデザイン図を描く。	
13回目	テスト	
14回目	★評価週 採点結果、試験解答	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	テスト結果70%、出席率20%、授業態度10%	
受講生へのメッセージ	自分の可能性を引き出す機会を作る。新たな才能を発見出来るかもしれないです！	
【使用教科書・教材・参考書】		
WEB & ファッション誌、オリジナル資料		

科目名 (英)	ドレスメンテナンス	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Dress maintenance	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ファッション・アパレル業界で企画や製造等を担当し、服飾デザイン・製作に関する知識を有する教員が、ドレスのメンテナンス方法と、メンテナンスに必要な手縫いの実習授業を実施する。							
※実務経験 メーカーにて製品の企画、デザイン、製造に携わる							
【到達目標】 ドレスのメンテナンスについて理解しその方法を習得できる。ドレスの取り扱いになれることができる。メンテナンスに必要な手縫いの技術を習得できる。							

授業計画・内容		
1回目	ドレスメンテナンス(脇つめができるようになる)	
2回目	ドレスメンテナンス(脇つめができるようになる。前回と別のドレスで行う)	
3回目	ドレスメンテナンス(プレスができるようになる)	
4回目	ドレスメンテナンス(プレスができるようになる。前回と別のドレスで行う)	
5回目	メンテナンスの確認小テスト(選んだドレスで脇つめとプレスをして提出)	
6回目	手縫い①(練習布にビーズつけができる。)	
7回目	手縫い②(練習布にスナップボタンつけができる。)	
8回目	手縫い③(練習布にスプリングホックつけができる。)	
9回目	手縫い④(練習布にスカートホックつけができる。)	
10回目	手縫い⑤(練習布にループ留め、ボタンつけができる。)	
11回目	手縫い(①から⑤を実際のドレスにつけることができる)	
12回目	手縫い(①から⑤を実際のドレスにつけることができる)	
13回目	手縫い(ななめまつりができる。 練習布→実際のスラックスの裾)	
14回目	★評価週	手縫い小テスト(手縫い①から⑤、斜めまつりをテスト用の布に施し提出)
15回目	★まとめ・追試/再試	わきつめ、プレス、手縫いで苦手な部分を復習
準備学習 時間外学習		
評価方法	メンテナンスでは確認小テスト、手縫いでは課題を提出してもらい評価	
受講生へのメッセージ	色々なドレスを実際に使い、メンテナンス方法や取り扱いに慣れていきましょう。手縫いは針と糸になれるところから始めましょう。実生活でも役にたつことと思います。	
【使用教科書・教材・参考書】		
手縫いはそれぞれの縫いの手順をまとめた資料を準備します。		

科目名 (英)	ドレス服飾史	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Dress clothing history	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) (株)ユミカツインターナショナル、ドレスサロンにてチーフアドバイザーを経験し、現在、(一社)全日本ブライダル協会、(一社)日本フォーマル協会にて研修を担当する講師が、ドレス服飾史を教えます。また、ウェディングドレスの歴史やフォーマルウェアの歴史についても触れ、専門性の高い授業を行います。							
【到達目標】 ブライダル業界人として、必要な服飾専門用語を習得する。 服飾史を学ぶことにより基礎力を身に付け、応用力のある人材を育成する。							

授業計画・内容		
1回目	導入、「衣服とは何か？」を考えることにより服装に対する意識を高める。	
2回目	古代Ⅰ　メソポタミア・エジプトの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する（ペールの重要性）	
3回目	古代Ⅱ　ギリシャ・ローマの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する（ペールの重要性）	
4回目	中世　中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する（キリスト教の影響）	
5回目	近世Ⅰ　近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する（宗教改革の影響）	
6回目	近世Ⅱ　近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する（最盛期を迎えた貴族社会）	
7回目	近世Ⅲ　フォーマルウェアの発生と歴史を理解する（産業革命の影響）	
8回目	中間テスト	
9回目	近代Ⅰ　イギリス　ヴィクトリア女王の結婚式から歴史を学ぶ（ウェディングドレスは何故白いのか？）	
10回目	近代Ⅱ　近代ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する（勤労を示す黒と貞淑を示す白）	
11回目	近現代Ⅰ　この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する（20世紀初頭～第二次世界大戦）	
12回目	近現代Ⅱ　この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する（第二次世界大戦～現在）	
13回目	試験対策を兼ねた復習	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト50点、期末テスト50点　の合計点数で評価 中間試験：筆記試験　虫食い問題など40点、「衣服とは何か？」説明せよ10点 期末試験：筆記試験　虫食い問題など30点、論文「ウェディングとは何か？」20点	
受講生への メッセージ	歴史の学習は基礎力を高めます。全ての土台であり、提案の源でもあります。 しっかりと歴史を学び、提案力のある人間になりましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
「世界の服飾史のすべてがわかる本」		

科目名 (英)	ネイル実習 nail training	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ネイリストとしてサロンワーク、スクール講師として活動する教員がネイル基礎からセルフネイル、アートなどの技術を習得できる授業を行なう。実技がメインとなる授業のため、遅刻、欠席は出来るだけせず道具準備も授業開始前に終了させて授業に臨んでほしい。							
【到達目標】 ネイルの基礎的な技術を習得。 ジェルネイルの基礎知識、施術方法を理解し実際に人(お客様)へ施術が出来るようになる。 ジェルを用いたアート方法を理解し、お客様のニーズに合ったデザインが施術出来るようになる。							

授業計画・内容		
1回目	ネイルで使用する商材の名前と目的を知る。ファイリング(ファイルの持ち方、動かし方)の習得する。	
2回目	相モデルでファイリングし、形を整える。メタルプッシャーの持ち方、動かし方を習得する。	
3回目	相モデルでネイルケアを通して行なえるようになる。	
4回目	カラーポリッシュの持ち方、塗り方を習得する。	
5回目	アクリル絵の具でのアートの描き方、テクニックを習得する。	
6回目	相モデルでケア、カラーが時間内に施術できるようになる。※中間テスト30点	
7回目	ジェルネイルの基礎、操作方法を理解し、ラメグラデーション、フレンチグラデーションをチップに施す。	
8回目	シースルー、デニム、大理石のアート方法を理解し、ネイルチップに施す。	
9回目	タイダイ(べっ甲)、大理石柄、デニムのアート方法を理解し、ネイルチップに施す。	
10回目	今までに学んだアート技術を取り入れデザイン画を完成させる。	
11回目	前回作成したデザイン画を元にネイルチップにアートを再現する。	
12回目	ネイルケアを復習し、施術時間を短縮できるようになる。	
13回目	カラーポリッシュの持ち方、塗り方を復習し施術時間を短縮できるようになる。	
14回目	★評価週	相モデルでケア、カラーが時間内に施術できるようになる。※期末テスト70点
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの採点評価を確認し復習する。
準備学習 時間外学習	授業内でデザインを考える工程があるのでネイル雑誌やネットで様々なアートを見て予習しておくことが望ましい。	
評価方法	評価は実習で行なう。 授業内で実技のタイムトライアルをし技術、知識の確認をする。 中間テスト30点期末テスト70点合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準じる。	
受講生への メッセージ	日常生活で塗るカラーマニキュアやジェルネイルの仕上がり、持ちが良くなるネイルケアの基礎をベースに授業を行っていく。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	パーソナルカラー Personal color	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイク業界でアーティストとして、ヘア、メイク、カラーコーディネートを担当した実績のある教員が、色彩の知識を生かし、個人にあったヘア、メイク、トータルコーディネートを提案、実践できる人材を育てる授業を行う。							
実務経験 サロンにおけるヘアメイク、カラーコーディネート							
【到達目標】 習得した色彩知識をもとに、個人の個性を見極め、似合うようにヘアメイク、コスチュームなど提案できるようになる。提案とともに、実際に施すこともできるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	パーソナルカラー、4シーズンの復習。それぞれの特徴が説明できるようになる。	
2回目	スプリングの特徴をまとめる。特徴を理解し、説明できるようになる。	
3回目	スプリングのヘアメイクの実践①。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
4回目	スプリングのヘアメイクの実践②。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
5回目	サマーの特徴をまとめる。特徴を理解し、説明できるようになる。	
6回目	サマーのヘアメイクの実践①。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
7回目	サマーのヘアメイクの実践②。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
8回目	オータムの特徴をまとめる。特徴を理解し、説明できるようになる。	
9回目	オータムのヘアメイクの実践①。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
10回目	オータムのヘアメイクの実践②。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
11回目	ウィンターの特徴をまとめる。特徴を理解し、説明できるようになる。	
12回目	ウィンターのヘアメイクの実践①。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。	
13回目		ウィンターのヘアメイクの実践②。似合うヘアメイクを知り、施すことができるようになる。
14回目	★評価週	実技テスト 個人に似合うよう提案し、ヘアメイクを施すことができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服 できるよう になる。
準備学習 時間外学習	前期で習った知識が必要となりますので、各シーズンごと復習して臨んでください。	
評価方法	定期試験の実技仕上がりで採点する。似合うよう仕上がっているか、イメージは表現できているか、美しく仕上がったかを評価する。	
受講生へのメッセージ	前期で得た知識の実践の授業となります。ヘアメイクの現場では、個人の魅力を引き出せる表現力、分析力がとても大事です。その力をつけれるよう、楽しく頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
パーソナルカラリスト3級教科書		

科目名 (英)	パーソナルカラー検定3級 Personal colorist test grade 3	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ブライダル総合科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ブライダルの現場、舞台、ショーなどでフリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛けながら、サロンにおいてカラー診断を行い、お客様のトータルコーディネートを行っている教員が、ブライダル現場で必要とされる基礎的な色彩の知識、配色のテクニックなどを習得する授業を行う。							
【到達目標】 基礎的な色彩知識を習得し、ブライダル分野でどう生かせるか考え、実践できるようになる。パーソナルカラー検定3級に合格する。							

授業計画・内容		
1回目	パーソナルカラーとは何かを知り、理解できる。 第1章 日本の色の歴史	
2回目	第1章 日本の色の歴史 まとめ・ポイントを理解できる。	
3回目	第1章 色の種類 まとめ・ポイントを理解できる。	
4回目	第2章 色のしくみ CUS表色系 ポイントを理解できる。	
5回目	第2章 CUS表色系 まとめ・ポイントを理解できる。	
6回目	第2章 三属性 対比、感情効果 まとめ・ポイントを理解できる。	
7回目	第2章 CUS配色効果 まとめ・ポイントを理解できる。	
8回目	中間テスト 第1章、第2章より出題	
9回目	第3章 ファッション概論 ポイントを理解できる。	
10回目	第3章 ファッション概論 まとめ・ポイントを理解できる。 第4章 パーソナルカラー ポイントを理解できる。	
11回目	第4章 パーソナルカラー まとめ・ポイントを理解できる。	
12回目	過去問① 合格圏内を目指す。	
13回目	過去問② 合格圏内を目指す。	
14回目	★評価週	定期テスト 全章より出題
15回目	★まとめ・追試/再試	解説、苦手分野を克服できる。
準備学習 時間外学習	必ず、復習をして授業に臨んでください。難しい単元もあります。前もって教科書を読んでおくとう理解度が増します。	
評価方法	中間テスト(1, 2章より出題) 50点 定期テスト(全章より出題) 50点 計100点満点で評価します。	
受講生への メッセージ	色彩についてのお勉強になります。身近にある【色】のことをじっくり考えてみましょう。ややこしい単元もありますが、勉強すれば必ず理解でき、検定合格もできます。将来、ブライダルの各分野でも絶対生かせる知識となります。まずは、色に興味を持って考えてみましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
パーソナルカラリスト3級テキスト カラーカード はさみ のり		

科目名 (英)	PowerPoint実習 PowerPoint training	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】 イベント会社、広告代理店にて、ブライダル現場やイベント企画・プレゼン資料作成・発表の実務を経験している講師が パワーポイントの使い方を学び基本から応用まで操作できるようになり プレゼン手法や伝わる資料作成・発表体験を支援します。							
【到達目標】 「シンプルで見やすく伝わる」資料作成できる。 伝わるプレゼン発表スキルを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・講師紹介、授業の進め方、授業目的を共有できる	
2回目	パワーポイントについて/読みやすい文章の書き方(フォント、タブキー、順列、検索など)を覚える キーボード操作ができる	
3回目	復習・振り返り/シンプルで見やすい図形の使い方を身につけることができる	
4回目	復習・振り返り/ショートカットについて・表グラフの種類解説 実習 グラフ作成ができる	
5回目	復習・振り返り/画像の挿入・編集 データ種類解説 実習 画像の挿入・編集ができる	
6回目	復習・振り返り/Excelデータコピー編集ができる 見栄え整えるポイントについて解説	
7回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成にまつわる作業を身につけることができる 実習①	
8回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成ができる 実習② データ変換方法について/制作発表できる	
9回目	プレゼンについて プレゼン資料作成の流れを学ぶことができる	
10回目	資料作りの前に市場を知り、必要な準備を行うことができる	
11回目	テーマ決め・プレゼン資料作成スキルを身につけることができる	
12回目	プレゼン資料作成できる	
13回目	プレゼン発表・ディスカッションを行うことができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト振り返り・前期まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度20% 提出物10% テスト70%	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 PCを使用してプレゼン資料作成できるスキルを身につけます。 ウェディング業界で活躍する為に必要な知識や手法です。 実践的に一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ビジネスマナー business manner	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 日本航空の国際線客室乗務員（皇室フライトの担当も行った経験がある）を経て、長年に渡り一般企業・短大・大学でマナーに関することを教えてきた専任教員から講義と実践を通じて、入社1年目に求められる社会人としてのマナーをひとつひとつ身に付けることが出来ます。グループワーク・グループディスカッション、ロールプレイングを通じて「知っている」から「出来る」人になっていく							
【到達目標】 ビジネスシーンにおける正しい身だしなみや立ち居振る舞いを学び、自身の行動に移すことが出来る。トラブルが起きた際に必要な言葉遣いや謝罪の方法を知ることが出来る。ロールプレイを通じて様々なトラブルの場面に対する対応方法を学ぶことが出来る。自信をもって入社式に臨めるようにまずは心の壁を取り除き、必要なビジネスマナーを習得。さらにコミュニケーション力を磨くことが出来ます。							

授業計画・内容		
1回目	入社前に行くこと・社会人としての心構えを理解できる	
2回目	社会人としての基本動作と身だしなみを身につけることが出来る。	
3回目	職場でのエチケットやマナーを理解習得が出来る	
4回目	適切な言葉遣いから、コミュニケーションの取り方・会話が途切れない言葉の選び方を学ぶことが出来る。	
5回目	感じの良い応対が出来る	
6回目	電話を受けるときのマナー・かけるときのマナーを学ぶことが出来る。	
7回目	仕事の進め方・メモの取り方・報連相のやり方・日報の書き方を学ぶことが出来る。	
8回目	私信とビジネス文書のつくり方を学ぶことが出来る。	
9回目	会食、食事、パーティでのマナーを身につけることが出来る	
10回目	冠婚葬祭のマナーを身につけることが出来る	
11回目	贈答マナーについて学び身につけることが出来る	
12回目	総復習を行い、不明確な点を明確にすることが出来る。	
13回目	総おさらいを行い社会人になる心構えを身につけることが出来る。	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	出席50% レポート提出50%	
受講生へのメッセージ	仕事を中心とした日常茶飯事を想定してマナーを作成してみました。また皆様のリクエストにもお答えしていきます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	フード&ビバレッジ Food & Beverage	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法に基づいて 食べ物と飲み物の基礎を学び大切さを学ぶ ※実務者経験 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】 実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来る 実生活で活用する知識を得る事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる	
2回目	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる	
3回目	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
4回目	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野鳥獣肉・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
5回目	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
6回目	課題の抽出・中間試験対策	
7回目	中間試験(筆記)	
8回目	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
9回目	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる	
10回目	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる	
11回目	西洋料理の食器・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる	
12回目	課題の抽出・試験対策	
13回目	筆記試験	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法		

科目名 (英)	フォーマルスペシャリスト検定準2級	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Formal Specialist Certification Level 2	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ブライダル総合科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） フォーマルのルール&マナーについて、 フォーマルの歴史から国際プロトコールと日本のフォーマルルール・オケージョンと着こなしについてお伝えします。 2021年1月20日に実施される 一般社団法人日本フォーマル協会のフォーマル検定 準2級（ブロンズライセンス）の取得に向けた対策講座も行ないます。（受験は任意。申込は12月下旬から） フォーマルの正準略ごとに「無地のフォーマルシート」を配布し、各自またはチームで独自のシートを創り上げて行くことで、理解を深める							
【到達目標】 フォーマルウェアの名称の理解 オケージョンごとの着こなしのルールの理解 TPO・ドレスコード等の理解を目指します。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション フォーマル概論 日常のフォーマルの理解とオケージョンについて理解する	
2回目	ワークショップ 自己紹介 フォーマル用語Q&A フォーマルシートの書き方を理解する	
3回目	フォーマルの歴史 世界と日本 日本の栄典・皇室行事 「格式」についてについて理解する	
4回目	正礼装 総論 オケージョンを理解する スライドで実際の着こなしを見る	
5回目	正礼装 昼 男性・女性 を理解する フォーマルシート作成	
6回目	正礼装 夜 男性・女性 を理解する フォーマルシート作成	
7回目	喪の着こなし 正準略 ブラックフォーマルについて理解する	
8回目	中間テスト 筆記50点	
9回目	準礼装 総論 オケージョンを理解する スライドで実際の着こなしを見る	
10回目	準礼装 略礼装 昼 夜 男性・女性 を理解する フォーマルシート作成	
11回目	試験対策と準備	
12回目	ウェディング 正・準・略 男性・女性 を理解する	
13回目	ウェディング フォーマルシート作成	
14回目	★評価週	フォーマルシートの発表
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト 筆記50点 フォーマルシート 30点 期末テスト 20点	
受講生への メッセージ	フォーマルのルールは相手を思いやる気持や社交の場で大切なスキルです。現状に即したルールとマナーをお伝えしていきます。 ワークショップも実施して、参加型の授業で理解を深めて生きたい思います。	
【使用教科書・教材・参考書】		
フォーマルウェアルールブックをご持参下さい。		

科目名 (英)	フォト&ムービー実習 Photo & movie training	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 「美しい写真」について、技術的・美術的2つの側面から学習し、理解できるようになる。 ※実務経験 大学卒業と同時に、プロの世界へ。以来20年以上、人物写真(ポートレート)を撮り続ける。広告、雑誌の世界からプロフィール写真家へ移行。2015年頃、東京から地元福岡を拠点に。「自分が美しいと思う写真」へと展開していく。「世界とつながる」をモットーに、米国の写真コンテスト受賞を皮切りに、現在も海外各地の写真家と交流を続ける。 【到達目標】 「楽しい写真」から「美しい写真」まで、カメラ(一眼レフ)を使いこなせるようになる。 グループワークで実際に一眼レフで撮影しながら、「体験的・経験的」に、カメラと写真の技術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション/カメラの構え方/今後の説明/グループ分け/いい写真と悪い写真の違いについて理解できる
2回目	オートで撮る！構図について習得できる
3回目	オートで撮る！構図 ライティング(照明)光について理解できる
4回目	オートで撮る！構図 レンズによって変わる写真の奥深さが会得できる
5回目	明るさを決める三要素の理解ができる
6回目	絞り優先！オートでは撮れない構図について理解できる
7回目	絞り優先！オートでは撮れない構図 & ライティング(照明) について理解できる
8回目	中間テスト
9回目	露出補正でさらに上手に撮影ができる
10回目	シャッター速度優先！オートでは撮れない、ダイナミックな写真を撮れるようになる
11回目	WB=色温度。電球と白色LEDで実験。混ぜるな危険！色について理解ができる
12回目	挑戦！マニュアル撮影。手足のようにカメラを操ることができる
13回目	カメラのアップダウンの構図。奥行きのある写真。足を長く撮る方法。ポートレートをカッコよく撮ることができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト(筆記60%、実技40%)でのみ評価。
受講生へのメッセージ	一見難しい大きなカメラ(一眼レフ)、実はとても簡単です。 ステップずつ学んでいき、「楽しい写真」「美しい写真」を撮りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal Items	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 海外のトレンド情報やコレクション、に頻繁に触れること。ショッップを見に行く、NYやロンドン、ミラノ、パリのコレクションを見る、メディアをチェックする、あちこちに出かける。アンテナをはってさまざまな情報を入手する。たくさんの情報源を持つことにより、各自の可能性を拡げる。 ※実務経験 ファッションのショッップにて勤務。その経験を活かし、専門学校にて。トレンド・ショッップ・接客などの授業を行う。							
【到達目標】 感覚的な部分を鍛えて、感性を磨く。 授業で勉強することにより、ウェディングプランナーとしてお客様の接客の際に自信をもって説得力のある接客が出来、様々な提案のできる発信型のプランナーになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、ファッショントレンドを知り感性を磨き、ウェディングプランナーとして生かせる接客が出来る、目標設定	
2回目	①海外のトレンドを知るために、ランウェイと海外スナップを見て、グループ毎に考えて発表する。⇒トレンドを絡めた接客が出来る。	
3回目	②海外のトレンドを知るために、ランウェイと海外スナップを見て、グループ毎に考えて発表する。⇒トレンドを絡めた接客が出来る。	
4回目	①小テスト⇒トレンドを知ることにより、説得力のある接客が出来る。	
5回目	課外授業を行う目的。授業で回る店舗の歴史やデザイナーの話。⇒メゾンの説明を受けることにより、より深く理解し、観察する。	
6回目	①課外授業、グループの担当別に分かれて店舗をまわる。	
7回目	課外授業のフィードバック。グループ毎に分かれて、それぞれの良かった点、悪かった点を模造紙に記入してもらい発表。その後、ディスカッション。⇒素晴らしい接客が出来る。	
8回目	映画祭、レッドカーペット、ロイヤルウェディング、セレブ担当のスタイリストのドレスの選び方、トレンドの作り方。⇒海外セレブ担当のスタイリストのドレスの選び方を習得する。	
9回目	②小テスト⇒トレンドを知ることにより、説得力のある接客が出来る。	
10回目	課外授業を行う目的。授業で回る店舗の歴史やデザイナーの話。⇒メゾンの説明を受けることにより、より深く理解し、観察する。	
11回目	②課外授業、グループの担当別に分かれて店舗をまわる。	
12回目	課外授業、グループの担当別に分かれて店舗をまわる。グループ毎に分かれて、それぞれの良かった点、悪かった点を模造紙に記入してもらい発表。その後、ディスカッション。⇒ウェディングプランナーとして各自がベストな接客が出来る。	
13回目	接客に対してのディスカッション。今まで自分が受けた接客でいいと思う接客。反対に悪いと思う接客。スペシャルな接客を皆でシェアしディスカッション。⇒皆で考えた、素敵な接客が出来る。	
14回目	★評価週	トレンド、デザイナー、テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	小テスト30% 期末テスト70%	
受講生へのメッセージ	ウェディングプランナーとして、ベストな接客が出来るように、自信をもって接客が出来るように、、感性を磨き、自分もお客様も存分に楽しめる接客ができるように、売り上げは後からついてくるので、先ず接客を楽しむことの重要性を伝えます。	
【使用教科書・教材・参考書】 VOGUE、ELLE、WWD		

科目名 (英)	ブライダルシステム Bridal System	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ブライダル業界歴25年。ブライダルプランナーを経て、ホテル・ブライダル会場の支配人、総支配人を務めた実績をもつ。現在はブライダルコンサルティング会社を営し、全国各地のホテル・ブライダル会場の業績向上支援コンサルティング事業を展開している。授業では、現役のブライダルプランナーが実際の現場で使用している【ブライダルプランナー専用のWEDDINGシステム】と同様のシステムを使用します。ホテル・ブライダル会場を新郎新婦に説明する際のシステムの利用方法や、テーブルコーディネートイメージを新郎新婦と共有する為のシステム利用方法など、ブライダルプランナーが【接客対応】に必要とされる知識を網羅し、ブライダル専用システムを使用した接客の手順を学ぶことができます。							
【到達目標】 ブライダル専用システムの機能・仕様を理解することができる 新郎新婦と打ち合わせをする際の、ブライダル専用システムを使用した接客・説明ができる システムを使用し、挙式・披露宴の進行表のタイムスケジュールを組むことができる							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 今後の目標設定 システムログイン確認 ブライダル専用システム全体の機能・概要を理解することができる	
2回目	現在のWEDDINGスタイル と ブライドスケジュール 新規接客と打合せ接客時におけるシステムの使い分けが理解できる	
3回目	挙式会場シミュレーション 接客をしながらのシステムの利用方法を取得できる	
4回目	バンケットシミュレーション 接客をしながらのシステムの利用方法を取得できる	
5回目	バンケット テーブルコーディネート ※テーマ設定 コーディネートシミュレーションシステムを使用し提案力を身に付けることができる	
6回目	六輝表 お日取り選定システムを使用し、婚礼予約の取り方を身に付けることができる	
7回目	衣裳提案シミュレーションシステムを使用し、シーン別衣裳提案力を身に付けることができる	
8回目	婚礼写真・記録DVD・映像演出シミュレーション システムを使用し、演出アイテムの把握とシーン別の使用方法を理解することができる	
9回目	婚礼料理シミュレーション システムを使用し、婚礼料理の種類と金額を理解することができる	
10回目	ブライダル装花シミュレーション システムを使用し、ブライダルシーンにおける装花の種類と金額を理解することができる	
11回目	挙式進行表 シミュレーション チャペル挙式・人前挙式(プランニング) 音楽選定 システムを使用し挙式進行の組み立てができる	
12回目	披露宴進行表 シミュレーション 披露宴進行のタイムスケジュールを組み立てることができる	
13回目	披露宴進行表 シミュレーション 音楽選局 披露宴のシーン別音楽の選曲・提案をすることができる	
14回目	★評価週	システム操作及びペーパーテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	始業時には、各自パソコンを立ち上げ、ログインをしてください	
評価方法	期末テスト100%(授業態度や出席日数は含めない)	
受講生への メッセージ	現在のブライダル会場ではブライダルプランナーが接客時において専用システムを使用することは、必須となっています。 この授業では、システムの使用方法以外にも、接客時に必要な知識や要素も同時に取得していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ブライダル専用システム		

科目名 (英)	ブライダルファッションショー企画 Bridal fashion show planning	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル現場、サロン、舞台、ショーなどでフリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛けながら、様々な専門学校で講義を行っている教員が、ヘアメイクの基本知識、テクニックに加え、ショーでのポイント、トータルコーディネートでのイメージの表現など、ショーを企画するうえで必要な知識、技術を習得するための授業を行う。							
【到達目標】 ヘアメイク、トータルコーディネートの基本的知識、技術を習得し、自分のイメージする像を表現できるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	フルメイクの手順を知り、各ポイントを理解できる。	
2回目	基本的なベースメイクの手技を知り、実践できる。	
3回目	ベースメイクに加え、基本的なアイブロウの描き方を知り、実践できる。	
4回目	ベースメイク、アイブロウに加え、基本的なアイメイクの方法を知り、実践できる。	
5回目	基本的なリップ、チーク、骨格補正方法を知り、フルメイクができる。	
6回目	モデルに合わせて、似合ったフルメイクができる。	
7回目	イメージメイク理論・イメージの理論を理解し、考えることができる。	
8回目	ヘアアレンジ 基本的なピン、ゴム、アイロンの使い方などを実践できる。	
9回目	イメージメイク① イメージに合わせて、メイクを実践できる。ヘアスタイルを考えることができる。	
10回目	イメージメイク② イメージに合わせて、メイクを実践できる。ヘアスタイルを考えることができる。	
11回目	様々なシーンでのヘアメイクを考える。ショー、舞台、コンテスト、スチールなど、様々なシーンでのヘアメイクの仕上げ方を理解できる。	
12回目	テーマに沿ったヘアメイク① テーマを表現できる。	
13回目	テーマに沿ったヘアメイク② テーマを表現できる。	
14回目	★評価週	定期テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手部分を克服できる。
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テストは、相モデルでの実技試験とします。技術者としての心構え、ヘアメイクの仕上がりを総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	この授業では、ショー、コンテスト、スチール撮影、などのヘアメイクを考え、実践できるようにしていきます。基礎技術に加えて、応用技術も必要になってきます。想像力、表現力、思考力を持って、身近にある雑誌、広告なども興味を持って見てみましょう。楽しんで臨んでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・ブライダル業界24年の経験講師により、和婚の歴史を紐解き今現在に通じる新たな和婚の企画/ブライダルフェア企画ができるようになる。							
【到達目標】 ・和の歴史、基本の和婚を身に付け、和婚式の応用の提案ができるよう目指してほしい。 ・ブライダルフェアの目的を理解し、企画することができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション和婚の挙式、披露宴や授業の目的を知ることができる	
2回目	神前式の復習と和装の復習で、和婚の理解を深めることができる	
3回目	(和装の小テスト)和婚挙式(紅差しの儀・簀迫の儀・水合わせの儀・懐剣の儀)	
4回目	和の結婚式基本型(進行)雅楽を理解する	
5回目	和装での挙式・演出での小物を理解する	
6回目	和婚の①挙式と②披露宴の企画書を作成することができる	
7回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
8回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
9回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
10回目	和婚の挙式プロデュース・プレゼンテーションができる	
11回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
12回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
13回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
14回目	★評価週	和婚の披露宴のプロデュース・ブライダルフェアのプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習	・特になし	
評価方法	・和婚の挙式プレゼンテーション70%・ブライダルフェアのプレゼンテーション30%	
受講生への メッセージ	・和婚の意味を理解し、現在らしさを加えての結婚式の提案をしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・資料は担当講師より配付		

科目名 (英)	ブライダルプランニング I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Bridal planning I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ・結婚のプロデュースを25年間行い、司会、プランナー、プロデューサーの育成をしている。その中でブライダルの打合せはとても重要でコミュニケーション力、提案力、営業力を求められる。講義では、プランナーに必要なトーク力を身に付ける内容を重点に、授業を遂行する。 ※実務経験 ブライダル業界にてプロデュース業25年以上のキャリア。							
【到達目標】 ・結婚式会場での、新規の新郎・新婦との会話、または深掘りのアイスブレイクから始まるトーク力を身に付け、現場力を高める。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、自己紹介、自分を知るチェックリストで基本的対話スキルの向上ができる	
2回目	チェックリストで自分自身を分析し、強み弱みを知ることができる	
3回目	接遇発生トレーニングの声出しができる、接客8大用語の取得	
4回目	アイスブレイクを身に付ける ①クローズド・クエスチョン②オープンクエスチョン③サンプルクエスチョンを理解することができる	
5回目	ヒアリングの意味を理解することができる	
6回目	新郎・新婦との初対面での会話ができる	
7回目	サンプルDVD鑑賞 ①②③レポート提出	
8回目	ブライダル業界に必要なコミュニケーションを身に付ける(トーク力)	
9回目	ロールプレイング①(ボイストレーニング)ブライダルビジネスにおけるヒアリングができる	
10回目	ロールプレイング②(ボイストレーニング)ブライダルビジネスにおける営業ができる	
11回目	ロールプレイング③新規ヒアリングができる、プレゼンテーションができる	
12回目	新規プランニング→成約後プランニングをロールプレイングで問題点を改善し、理解することができる	
13回目	評価実技テスト対策	
14回目	★評価週	ロールプレイング実技テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	・レポート提出20% 実技80%	
受講生への メッセージ	・ブライダル業界での一番重要なコミュニケーション力、トーク力、プレゼンテーション力を強化し、新郎・新婦に寄り添える人となってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・参考資料は担当講師が配付		

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Bridal planningⅡ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 結婚式やイベントの司会(MC)や、ウェディングプランナー育成の現場に携わっています。 お客様との対面接客に於いて、限られた時間内で打合せを遂行し、夢を与える接客トーク話術を学ぶことができます。ウェディングの打合せは、ご結婚を挙げられる新郎新婦様によりますが、3ヶ月～1年間 を通して行われます。その間、ご結婚式に必要な様々なWEDDINGアイテムをお客様にご提案し、ご納得いただいて、ご注文いただく、という流れになりますが、ウェディングプランナーに求められるのは、そのお客様のテーマに合った、提案力、とりまとめる力、説得力です。そして、その力を「接客トーク」として「伝える力」を持つことです。この講義は、「お客様との接客話術力」を身に付けていただく内容で進めて参ります。□							
【到達目標】 ご結婚式の成約後～当日までの一連の打合せ業務において、お客様との接客話術を取得できるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション自己紹介 接客においての必要な座り姿勢・笑顔・第一印象・声のトーンなど基本話術の取得	
2回目	お客様との名刺交換・打ち合わせ時・エレベーター、車などの座席位置など基本マナーを取得	
3回目	婚礼アイテム 発注業務 料理・飲物・ウェディングケーキのアイテム、商品説明、ウェディングシーンでの説明、提案ができる	
4回目	婚礼アイテム 発注業務 料理・飲物・ウェディングケーキのアイテム、商品説明、ウェディングシーンでの説明、提案ができる	
5回目	婚礼アイテム 発注業務 装花・写真・衣装・美容のアイテム、商品説明、ウェディングシーンでの説明、提案ができる	
6回目	婚礼アイテム 発注業務 引出物・引き菓子のアイテム、商品説明、ウェディングシーンでの説明、提案ができる	
7回目	婚礼アイテム 発注業務 座席表作成・ペーパーアイテム、商品説明、ウェディングシーンでの説明、提案ができる□	
8回目	婚礼アイテム 演出・挙式の種類 ウェディングシーンでの説明、提案ができる□	
9回目	婚礼アイテム 演出・挙式の種類 part2 ウェディングシーンでの説明、提案ができる□	
10回目	婚礼アイテム 演出・披露宴での進行 ウェディングシーンでの説明、提案ができる	
11回目	婚礼アイテム 披露宴当日の新郎新婦のスケジュールの説明ができる	
12回目	婚礼アイテム 披露宴当日の新郎新婦とご家族への接客と人前式リハーサルができる	
13回目	試験への対策	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	ゼクシイなどのブライダル情報誌で現在の価格帯の情報収集 敬語の使い方□	
評価方法	ロールプレイング方式	
受講生への メッセージ	ウェディングプランナーの接客時に於いて、必要とされる話術を学んでいきます。伝える力を持つことでお客様とのコミュニケーションは各段に飛躍します。楽しみながら、接客力を身に付けていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Bridal professional	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホスピタリティ業界経験及びブライダル業界経験のある教員が、ユミカツラインターナショナル認定「ブライダルコーディネーター」資格取得を目指し、企画立案、企画書の制作、オリジナルウェディングを考え抜く力を身に付ける。							
【到達目標】 ・ユミカツラインターナショナル認定「ブライダルコーディネーター」合格を目指す							

授業計画・内容		
1回目	授業のオリエンテーション、ユミカツラ認定「ブライダルコーディネーター」とはどのような資格なのか理解する	
2回目	「ふるさとウェディング」について、自ら調べ、クラス内で発表し合い課題の理解を深める	
3回目	課題スタート、新郎新婦の設定、お二人の背景、エピソードを決定する。	
4回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
5回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
6回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
7回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
8回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
9回目	中間提出/講師添削	
10回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
11回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
12回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
13回目	各々課題に取り組み、オリジナルウェディングを考えることができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度・出席50%、各種ワークシートの提出物50%	
受講生へのメッセージ	土台をしっかり完成させた状態で社会人になれるよう、授業を通してしっかり準備していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルヘアアレンジ基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Bridal hair arrangement basic	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルヘアメイクアップアーティストとして700件以上担当した教員が、これまで培ってきた経験と技術を基に現場で通用するヘアアレンジ技術を育成します。							
【到達目標】 道具を用途に合わせて正確に使用する事が出来る。アップやダウンスタイルなどブライダルヘアスタイルを作る事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	道具の名称と用途を知る。ピン止めと編み込みが出来る。
2回目	ウィッグを使用してねじりと編みおろしが出来る。
3回目	ウィッグを使用してコテ巻き、ウェーブ巻きが出来る。ハーフアップが出来る。
4回目	ウィッグを使用してウェーブ下目のルーズアップが出来る。
5回目	相モデルでハーフアップとウェーブ巻き下目のルーズアップが出来る。
6回目	ウィッグを使用してハーフアップとウェーブ巻き下目のルーズアップを作る中間テストを行う。
7回目	ホットカーラー巻きが出来る。逆毛を入れることが出来る。
8回目	ウィッグを使用して下目シニヨンが出来る。
9回目	ウィッグを使用してお団子アップが出来る。
10回目	相モデルでダウンスタイルが出来る。
11回目	ウィッグを使用してエクステを使ったアレンジが出来る。
12回目	期末試験に向けて相モデルでブライダルヘアスタイル1作品作る。
13回目	期末テスト 相モデルでブライダルヘアスタイル1作品作る。
14回目	★評価週 期末テスト 相モデルでブライダルヘアスタイルを1作品作る。
15回目	★まとめ・追試/再試 テストの課題が克服出来る。
準備学習 時間外学習	授業でお伝えした内容はノートにまとめてください。その内容を次回の授業前に見返してきてください。
評価方法	中間テスト(30%) 授業(30%) 期末テスト(40%)
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。ヘアアレンジは女性を笑顔にできる1つの魔法です。難しいと感じることもあるかと思いますが一緒に笑顔にできる技術を身につけていきましょう。わからない事があればどんどん質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク実習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Bridal hair make trainingⅠ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 主にブライダル業界で花嫁のヘアメイクをする傍ら、学校や企業向けにヘアメイク講習を行う教員が、ブライダルヘアメイクの仕事を理解し、感性・創造力を高めていく実習を行う。1年時で学んだメイクの基礎を活かした応用となるため、顔分析に基づき、似合わせるメイクをしっかりと身に付ける授業を行う。相モデルでの実習となる授業のため、遅刻や欠席は出来るだけせず臨んでほしい。実習の中でブライダル業界で役立つ知識と技術だけではなく、メイクアップアーティストとしてのマナーや心構えに関する授業も行う。お客様に触れさせていただくという意識を持ち、手から、ブラシから伝わる「思いやりの気持ち」の大切さを身に付ける。							
【到達目標】 相モデルでお互いの顔を分析をしたうえで要望や悩みを聞き、的確なアドバイスと寄り添った接客力を身に付ける。和、洋どちらにも対応できるヘアメイクを習得する。相モデルでメイクをイメージ通りに表現できるよう練習し、後半にはドレスとヘアメイクのトータルバランスを考え提案し、創りたい新郎、新婦のイメージを形に出来るようにする。							

授業計画・内容		
1回目	メイク座学①色と質感と形について学び理解が出来る。	
2回目	メイク演習①美人顔と愛され顔の違いを知る。パーツの大きさ、配置、バランスをコントロールし美人顔に近づくことが出来る。 <u>ベースメイクをした状態で臨むこと。</u>	
3回目	メイク演習②キュート、エレガント要素を取り入れて黒留袖メイクが出来るようになる。男子もメイク参加。 <u>スキンケアをした素顔の状態で臨むこと。</u>	
4回目	ヘア演習①留袖に合う下目のシンヨンスタイルが出来るようになる。男子はヘアの基礎復習から応用が出来るようになる。 <u>スタイリング剤無しの状態で臨むこと。</u>	
5回目	メイク演習③列席者を想定したパーティーヘアメイクが出来るようになる。男子もメイク参加。 <u>検索しイメージ画像を持参する。スキンケアをした素顔の状態で臨むこと。</u>	
6回目	ヘア演習②ホットカーラーを用いて夜会巻きが出来るようになる。	
7回目	ヘア演習③ホットカーラーを用いて夜会巻きが出来るようになる。	
8回目	メイク演習④骨格を捉えて外人風メイクが出来るようになる。男子もメイク参加。 <u>スキンケアをした素顔の状態で臨むこと。</u>	
9回目	メイク演習⑤ものまねメイクが出来るようになる。挑戦するのは「なりたい顔NO1の○○！！」	
10回目	ヘアメイク演習①撮影ヘア決め、テーマ、アングル、ブース、小物、撮影アイテム決め	
11回目	ヘアメイク演習②カウンセリングシートに基づいて定期試験に向けてヘアメイクの練習する。	
12回目	ヘアメイク演習③カウンセリングシートに基づいて定期試験に向けてヘアメイクの練習する。	
13回目	★評価週 ヘアメイク(40分)→フィッティング(10分)【前半組】→撮影&プリントアウト	
14回目	★評価週	ヘアメイク(40分)→フィッティング(10分)【後半組】→撮影&プリントアウト
15回目	★まとめ・追試/再試	前期振り返り➡表彰(HM-1グランプリ決定)
準備学習 時間外学習	◎毎時間の持参物・・・筆記用具、配布したプリント類、白フェイスタオル2枚、メイク道具一式(授業後メイク直し希望者)、肌が弱い方は、基礎化粧品一式(化粧水、乳液、美容液など。学校にも用意は有ります。)メイク落とし、パフ、スポンジ、リップブラシ(他のブラシに関しては持参は自由)※全て100均のものでも構いません。◎原則として友達同士の道具の貸し借りは禁止とします。毎時間忘れずに用意すること。◎人数が多いため授業前にメイク道具のセッティングを行ったり、メイクオフを速やかに行い授業に参加すること。◎直接肌に触れる道具は(スポンジ、ブラシ類など)は自宅で清潔にして持参すること。	
評価方法	授業前にドレスや小物、カメラ、プリンターを協力して運ぶ。試験開始とともに忘れ物(名札、タオル2枚)チェックし、評価は100点満点で、授業の理解度、作品の仕上がりが評価対象です。試験時間は50分でヘアメイク+10分で衣装フィッティング、計60分。	
受講生への メッセージ	全て相モデルでの実習になります。カウンセリングにも力を入れた授業です。お客様の心に寄り添ったカウンセリング力と、分析に基づいたヘアメイク技術、どちらも身に付けて『ワンランク上の自分』を目指してください。この授業では楽しく！感性を爆発させて下さい！皆さんの珠玉の作品を私も楽しみにしています。今回も人数が多い授業となります。授業時間内で聞けなかった質問等は、授業後に残って質問を受け付けます。なるべく皆さんの疑念が残らないよう、私も力を尽くします。一緒に頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
日本メイクアップ技術検定試験 2・3級公式テキスト		

科目名 (英)	ブライダルマーケティング	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Bridal marketing	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 東急ホテルズインターナショナル(株)マーケティング部の出身で、ツアーのプランニングや市場分析、および販売促進のプランを実際に行った経験をいかし、マーケティングの重要性を理解していただく。いいホテルを建てればお客様が自然にいらっしゃる時代は終わり、告知、販売促進、PRや広告宣伝、そして販売ルートの開拓をしないとイケない時代になっていることをふまえ、具体的なプランニングや広告を考えていく。 (実務経験) (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。							
【到達目標】 ① マーケティングの重要性が理解できる ② 販売促進のためのプランニングができる ③ ターゲット別に販売促進を考えることができる。							

授業計画・内容	
1回目	導入(マーケティングの仕事内容を理解する)
2回目	4つのP(place, price, product, promotion)を理解する
3回目	広告宣伝とは何かを具体例をまじえて理解する
4回目	PRをパブリシティの効果を考えながら理解する
5回目	CMを見て、何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
6回目	新聞広告をみて何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
7回目	雑誌広告やフリーのペーパーの広告をみて、何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
8回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その1
9回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その2
10回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その3
11回目	ターゲットとは何かを理解する
12回目	ターゲットを細分化して成功した例を学ぶ
13回目	まとめ、復習、テストの準備
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	交通広告、フリーペーパー、テレビCMなど身の回りの販売促進物に注意をはらって、自分なりにその効果を見るようにしましょう。
評価方法	小テストまたはレポート提出20% テスト80%
受講生へのメッセージ	ホテルの管理部門の一番人気部署と言われているマーケティングを理解して、ホテルの売り上げの数字を伸ばすことを考えられる人になりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルメイク基礎 Bridal makeup basics	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ブライダル現場、サロン、舞台、ショーなどで、フリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛けながら、様々な専門学校で講義を行っている教員が、ブライダルの現場で必要とされるヘアメイクの基礎知識、技術を習得し、現場力を養う授業を行う。							
【到達目標】 ブライダルの現場に必要なヘアメイクの基礎知識、基礎技術を習得し、実践できるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	技術者としての心構えを知り、道具の使い方、ケア方法を理解し、実践できる。	
2回目	基本的なベースメイクの作り方を知り、実践できる①	
3回目	基本的なベースメイクの作り方を知り、実践できる②	
4回目	基本的なアイブロウの描き方を知り、実践できる。	
5回目	基本的なアイメイクの作り方を知り、実践できる。	
6回目	ベースメイク、アイブロウ、アイメイクをモデルに合わせて施すことができる。	
7回目	基本的なリップ、チーク、骨格補正方法を知り、実践できる。	
8回目	モデルに合わせて、フルメイクを施すことができる①	
9回目	モデルに合わせてフルメイクを施すことができる②	
10回目	基本的なピン、ゴムの使い方を知り、実践できる。	
11回目	基本的なアイロンの使い方を知り、実践できる。	
12回目	定期テスト① モデルに合わせてイメージを決め、フルメイクを施すことができる。	
13回目	定期テスト② モデルに合わせてイメージを決め、フルメイクを施すことができる。	
14回目	★評価週	定期テスト③ メイクのイメージに合わせて、ヘアを施すことができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手部分を克服できるようになる。
準備学習 時間外学習		
評価方法	7月5日、7月12日は相モデルでメイクのテストを行います。1コマの授業のため、時間的に技術者とモデルの交代ができないため、前半の受験者、後半の受験者、と2日に分けて設定しています。50点満点で、仕上がりの美しさ、モデルへの似合わせ等、評価します。8月30日はヘアのテストを行います。前回のメイクに合わせて50点満点で仕上がり进行评估します。ヘア、メイク合わせて100点満点です。	
受講生への メッセージ	1コマの実技の授業ですので、時間を大切に楽しんで進めていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルメイク実習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Bridal makeup trainingⅡ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル現場、サロン、舞台、ショーなどでフリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛けながら、様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基本知識、テクニックに加え、応用テクニック、現場力を養う授業を行う。							
【到達目標】							
ブライダルの現場で必要とされるメイクの知識、テクニックを身に付け、実践することができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	技術者としての心構えを理解し、道具の使い方、ケア方法を習得、実践できる。	
2回目	基本的なベースメイクの手技を知り、実践できる。	
3回目	ベースメイクに加え、基本的なアイブロウの描き方を知り、実践できる。	
4回目	ベースメイク、アイブロウに加え、基本的なアイメイクの方法を知り、実践できる。	
5回目	基本的なリップ、チーク、骨格補正方法を知り、フルメイクができる。	
6回目	モデルに合わせて、似合ったフルメイクができる。	
7回目	ポイントメイク応用① 様々な形、質感のポイントメイクを表現できる。	
8回目	ポイントメイク応用② 様々な形、質感のポイントメイクを表現できる。	
9回目	イメージメイク① イメージに合わせて、メイクを表現できる。	
10回目	イメージメイク② イメージに合わせて、メイクを表現できる。	
11回目	ブライダルメイクを考える。様々なシーンでのブライダルメイクを考え、理解できる。	
12回目	テーマの沿ったヘアメイク① テーマを表現できる。	
13回目	テーマに沿ったヘアメイク② テーマを表現できる。	
14回目	★評価週	定期テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手部分を見極め克服できる。
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テストは、相モデルでの実技試験とします。技術者としての心構え、ヘアメイクの仕上がりを総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	授業内では、メイクの基礎技術の習得、技術の向上を目指します。自分が表現したいメイクは、どうしたら表現できるのかをまずはしっかりと考え、実践できるように頑張りましょう。想像力を豊かにしていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダル基礎 I Bridal Basics I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ・基本的な知識を身に付け社会人なり、ブライダル業界またはホテル業界で活躍できる人間になる指導を行う。 ・ブライダル業界の24年間の体験上の話を行ないながら興味深く進行していく。 ※実務経験 ブライダル業界23年間の体験上の話を興味深く、進行していく							
【到達目標】 ・小テスト・ロールプレイング等で基本知識の向上を図り、業界で活躍できる資質を身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、自己紹介、評価内容、授業の目的、ボイストレーニング（DVD使用）	
2回目	ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割を理解することができる	
3回目	ブライダルマナー（招待状の返信・参列者ファッション・のし袋の書き方etc）を理解することができる	
4回目	ブライダル用語Ⅰ、ブライダル業界の用語を理解することができる	
5回目	ブライダル用語Ⅱ、ブライダル業界の用語を理解することができる	
6回目	結婚スタイル（挙式）①キリスト教式 ②神前式 ③人前式 ④リゾート婚式 を理解することができる	
7回目	披露宴会場 ①ホテル ②ゲストハウス ③レストラン ④専門式場 を理解することができる	
8回目	ブライダル用語のテスト(中間テスト)	
9回目	今どきの演出&定番の演出、料理 ①フランス ②日本 ③和洋 ④中国料理 を理解することができる	
10回目	披露宴の基本プログラム、披露宴の流れを理解することができる	
11回目	披露宴の進行とバランス、披露宴の演出を理解することができる	
12回目	当日までのスケジュール・当月のスケジュールを理解することができる	
13回目	トータルの見積書（料理・衣装・美容・演出・装花）を理解することができる	
14回目	★評価週	上記の内容のまとめの試験
15回目	★まとめ・追試/再試	解答と質問
準備学習 時間外学習	・特になし	
評価方法	・学科 中間テスト 50% 期末テスト 50%	
受講生への メッセージ	・ご入学おめでとうございます。ブライダル業界での基礎知識を理解し、身につけてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・ABC検定（ブライダルコーディネーターテキスト） ・参考資料は配付 ・ゼクシィ		

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅱ Bridal BasicsⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・ブライダル業界24年の現役講師によりブライダル基礎を学び、引き続き基礎を基盤に応用ができるようにする。							
【到達目標】 ・基礎から応用ができ、知識力を発揮することができる。							

授業計画・内容		
1回目	前期の基本知識の復習(挙式・披露宴・ブライダルフェア)を理解することができる	
2回目	進行表と演出、当日のスケジュールを理解することができる	
3回目	見積書の解説(各価格帯による意味)を理解することができる	
4回目	リッツファイブ見学(専門式場) 専門式場がどのようなところか理解できる	
5回目	引出物、引菓子、縁起物、料理、映像関係を理解することができる	
6回目	ハカタギ見学予定(ゲストハウス) ゲストハウスがどのようなところか理解できる	
7回目	招待状(ペーパーアイテム) 席次表の肩書等を理解することができる	
8回目	日航ホテル見学予定(ホテル) ホテルウェディングがどのようなところか理解できる	
9回目	ヒアリングシートを理解することができる	
10回目	ヒアリングシートを作成することができる(グループ)	
11回目	ブライダルフェアを理解することができる	
12回目	①模擬ブライダルフェアを企画することができる	
13回目	②模擬ブライダルフェアを企画することができる	
14回目	★評価週	③模擬ブライダルフェアを企画することができる、各プレゼンテーションとレポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	ブライダル基礎の振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	・小テスト50%、ヒアリングシート、模擬ブライダルフェアプレゼンテーション50% グループ評価とする	
受講生へのメッセージ	・1年間でしっかりプランナーとしての基礎知識を身に付け、業界で活躍できる人になってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・講師より配付		

科目名 (英)	フラワー実習 I Flower training I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界における装花の役割を理解する 実習を通して、フローリストとしての基礎知識を学ぶ ※実務経験 最年少でNFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。KAMYU STYLE(カミユスタイル)主宰。数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。 【到達目標】 トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について	
2回目	トレンドを取り入れたインテリア雑貨制作／スワッグ壁飾り制作ができる	
3回目	「母の日」の由来について理解する／アレンジメント制作ができる	
4回目	昨今のブライダルトレンドを読み解き、人に説明ができる	
5回目	2021年のブライダルドレストレンドについて学び、人に説明ができる	
6回目	これまでの講義をふまえ、2021年のブライダルトレンドプレゼン資料を製作することができる	
7回目	中間テスト	
8回目	前回製作したプレゼン資料を用い、プレゼンテーション・ディスカッションをすることができる	
9回目	ブライダルブーケ制作ができる①／クラッチスタイルについて理解する	
10回目	ジューンブライダルについて理解する／ナチュラルなアレンジメント制作ができる	
11回目	プラントハンガー制作ができる	
12回目	年間のフラワーイベントについて理解する	
13回目	ブライダルブーケ制作ができる②／サマーグリーンブーケ制作	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(30%) 期末テスト(70%)	
受講生への メッセージ	トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	フラワー実習Ⅱ flower trainingⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) NFD講師資格を取得し、数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合指揮を多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師陣が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえつつ、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワーアレンジメント講義を行う。							
【到達目標】 ブライダルやフラワーアレンジメントの知識を身につけ、各々が自身でアレンジメントを企画・デザインする能力を育み伸ばす。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(自己紹介／授業の目的・展望)
2回目	<シーズナルイベント装花①>ハロウィンアレンジメント作品を制作できるようになる。
3回目	昨今のブライダルトレンドを学ぶことができる。
4回目	前回の講義をふまえ、個々にリサーチ・収集したものをういプレゼンテーション資料を作成。
5回目	前回作成した資料を用いたプレゼンテーション／ディスカッション。
6回目	<シーズナルイベント装花②>AWスタイルアレンジメント作品を制作できるようになる。
7回目	中間テスト
8回目	<ブライダルブーケ制作>クラッチスタイルを制作できるようになる。
9回目	<シーズナルイベント装花③>フレッシュリース作品を制作できるようになる。
10回目	<シーズナルイベント装花④>クリスマスアレンジメント作品を制作できるようになる。
11回目	<シーズナルイベント装花⑤>しめ縄の由来を学び、作品を制作できるようになる。
12回目	<シーズナルイベント装花⑥>迎春アレンジメント作品を制作できるようになる
13回目	<シーズナルイベント装花⑦>フラワーバレンタインについて学び、作品を制作できるようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヘアメイク基礎 Hair make basics	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルの現場、サロン、舞台、ショーなどでフリーのアーティストとしてヘアメイクを手掛けながら、様々な専門学校で講義を行っている教員が、ブライダルの現場で必要とされるメイクの基礎知識、基礎技術を習得するための授業を行う。							
【到達目標】 技術者としての心構え、接遇をよく理解し、ブライダルの現場に必要なメイクの基礎知識、基礎技術を習得、実践することができる。モデルに合わせて、フルメイクができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	技術者としての心構えを理解し、道具の使い方、ケア方法を知り、実践できる。	
2回目	フルメイクの流れを覚え、基本的なベースメイクの作り方を知り、理解できる。	
3回目	基本的なベースメイクの作り方を復習し、実践できる。	
4回目	基本的なベースメイクの作り方を復習し、実践できる。	
5回目	基本的なアイブロウの描き方を知り、実践できる。	
6回目	ベースメイク、アイブロウをモデルに合わせて施すことができる。	
7回目	基本的なアイメイクの作り方を知り、実践できる。	
8回目	ベースメイク、アイブロウ、アイメイクをモデルに合わせて施すことができる。	
9回目	基本的なリップ、チーク、骨格補正方法を知り、実践できる。	
10回目	モデルに合わせてフルメイクを施すことができる。	
11回目	モデルに合わせてフルメイクを施すことができる。	
12回目	モデルに合わせたフルメイクを決められた時間内に施すことができる。	
13回目	モデルに合わせたフルメイクを決められた時間内に施すことができる。	
14回目	★評価週	定期テスト フルメイク40分以内
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手部分の練習をし、克服できる。
準備学習 時間外学習		
評価方法	相モデルでのフルメイク40分以内で実技試験を行います。仕上りの美しさ、バランスの良さ、モデルへの似合わせ、技術者としての接遇など総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	入学おめでとうございます。限られた時間でのメイクの練習になりますが、楽しんで頑張りましょう。想像力を豊かに、思い切ってメイクをしてみてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ペーパーアイテム Paper items	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース/ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション・アパレル業界で企画や製造等を担当し、服飾デザイン・製作に関する知識を有する教員が、ワイヤーアクセサリ製作/水引などブライダルに関連するアイテムの制作過程を教える。 ブライダル業界に必須であるペーパーアイテム(招待状、席次表)を実際に制作することで、1年次に習得した知識をアウトプットする。							
※実務経験__メーカーにて製品の企画、デザイン、製造に携わる							
【到達目標】 ブライダル業界のトレンドを学び、ブライダルに関わる多様なアイテム知識の向上を図る。 ワイヤーアクセサリ(ヘッドアクセサリ)を作ることができるようになる。刺繍ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・授業の到達目標の確認(ワイヤーアクセサリー)・ワイヤーアクセサリー資材の配布と道具の確認	
2回目	ワイヤーアクセサリー製作(パールの基本パーツが作成できる)	
3回目	ワイヤーアクセサリー製作(ビーズの基本パーツが作成できる)	
4回目	ワイヤーアクセサリー製作(葉っぱの基本パーツが作成できる)	
5回目	ワイヤーアクセサリー製作(固定パーツの作成、パーツ組み合わせの全体像をバランスを見ながら決めることができる)	
6回目	ワイヤーアクセサリー製作(全体を組み合わせで完成させることができる)・提出	
7回目	授業の到達目標の確認(刺繍)・刺繍の資材の配布と道具の確認、基本のステッチ練習:ストレートステッチ、ランニングステッチ、バックステッチができる	
8回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:アウトラインステッチ、サテンステッチ、レザーデージーステッチができる)	
9回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:チェーンステッチ、フレンチノットステッチ、フライステッチができる)	
10回目	婚礼に必要なペーパーアイテムを理解する	
11回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ①	
12回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ②	
13回目	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる①	
14回目	★評価週	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる②
15回目	★まとめ・追試/再試	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる③
準備学習 時間外学習		
評価方法	製作物の提出	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
製作の手順をまとめた資料を準備します。		

科目名 (英)	ホスピタリティ実習 Hospitality Training	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科全員	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、1年次に習得したことを踏まえ、 ビジネスシーンで柔軟に対応できる思考と動きプラス、ホスピタリティ・マインドを実践形式で理解を深めていき、「わかる」から「できる」ようにします。							
【到達目標】 ①ワンランク上の知性とホスピタリティ・マインドを習得し、現場の即戦力になる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業の説明　1年次の授業を振り返り、ホスピタリティの本質を理解することができる	
2回目	①ホスピタリティの実践(笑顔、身だしなみ、姿勢、歩き方など)プロとしての雰囲気作りを習得することができる	
3回目	②ホスピタリティの実践(話し方、言葉遣いなど)プロとしての雰囲気作りを習得することができる	
4回目	歩き方、お辞儀、座り方、話し方を自分たちで撮影し気づきを与えることで理解を深めることができる	
5回目	電話応対とメモの取り方を実践し、一通りできるようになる	
6回目	電話応対(自分たちで考えたアドリブを加え、ホスピタリティ・マインドを発揮した対応)を実践し理解を深めることができる	
7回目	効果的な「傾聴」を実践と動画から学び、習得できる	
8回目	実践の振り返り	
9回目	①冠婚葬祭の基礎知識、宴会の基礎知識を理解することができる	
10回目	②冠婚葬祭の基礎知識、宴会の基礎知識を理解することができる	
11回目	クレーム対応の動画を視聴し、お客様の心理や対応を理解することができる	
12回目	様々なクレームを想定し、ホスピタリティマインド溢れる対応を考え、実践することができる	
13回目	コンプライアンスを学び正しく理解することができる	
14回目	★評価週	実技テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック
準備学習 時間外学習	インプット(知識の習得)からアウトプット(考えて実践)へ、求められているスキルが変化していますので「自分を変えるチャンス」だと思って常に高い意識を持つこと。 視野を広く持つこと。これだけでも考え方や行動が変わってきます。 ぜひ、チャレンジしてください。	
評価方法	実技テスト(評価方法については、授業の中で説明します)	
受講生への メッセージ	接客業のマナー本には必ず「ホスピタリティ」という語が登場します。接客する人の教養のようなものと考えられ、「おもてなしの心」と訳される場合もあります。代償を求めることを優先せず相手の立場に立って考え行動することがお客様に多くの感動や喜びを与え、時には感謝に至ることも共有できる人を選ぶ場合の大切な心構えとされています。実践が多い授業になりますので、授業は現場に出る前の練習の場と思って、積極的に参加してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
教科書　：　ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会 参考書　：　ホテルビジネス基礎編／日本ホテル教育センター ※講師が作成したプリント(ファイリングするなど各自で保管すること)		

科目名 (英)	ボランティア実習 Volunteer Activity	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 福祉関連の資格保持者の教員が、福祉や企業のCSR事業においてもとめられるボランティア活動やそれに付随する活動を紹介し、社会のなかでのボランティア活動の立ち位置、社会人になってからのボランティア活動とのかかわり方なども考えていく。							
【到達目標】 ・現在行われているボランティア活動にはどのようなものがあるか知ることができる。 ・企業のCSR活動のなかで行われるボランティア活動について知る。 ・コロナ禍であっても出来るボランティア活動を考え、実際に行っていくことができる。 ・日本だけでなく世界に視野を広げ、世界中で行われているボランティア活動について知る。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、この授業で何を学び身に着けることができるか知る。
2回目	SDGs 総論について理解し、説明することができる。
3回目	SDGs 人と国の平等を理解し、説明することができる。
4回目	SDGs ジェンダー平等を理解し、説明することができる。
5回目	SDGs すべての人に平和と平等を理解し、説明することができる。
6回目	SDGs 気候変動に具体的な対策を考え、意見交換をできる。
7回目	SDGs 「平和と公正を全ての人に」について考え、意見交換することができる。
8回目	SDGs 「働きがいと経済成長」について考え、意見交換することができる。
9回目	SDGs 中間テスト
10回目	中間テストの解説/振り返り
11回目	自分の行きたい業界で行っている・行することができるCSR活動の一環としてのボランティア活動を考える③前週で調べた内容をまとめ、発表できるようにする
12回目	自分の行きたい業界で行っている・行することができるCSR活動の一環としてのボランティア活動を考える④調べた内容を発表する①
13回目	★評価週
14回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	中間テスト50%・期末テスト50%
受講生への メッセージ	コロナ禍において行うことのできるボランティア活動は例年よりも格段に減っていますが、なぜボランティア活動をするのが求められるのか、なぜ必要なのかということと一緒に考え、社会の仕組みについて理解を深められればと思っています。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レストランサービス実習 Restaurant service	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース/ブライダル総合コース	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル・飲食業界にて責任者として、教育を担当した実績のある専任教員が「厚生労働大臣指定機関」「一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法」の教材を用いて得た知識を活かせるようにします。 実務経験 料飲バー・レストランサービス、宴会・婚礼サービス/厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得 2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】 実社会で通用するホテル・レストランの基礎知識を取得し説明が出来る 適切な知識を得る事で学校生活・日常生活を有意義に過ごせるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
2回目	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食器・備品を学び理解する事ができる
3回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
4回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
5回目	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
7回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
8回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
9回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
10回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
11回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる
12回目	課題の提出と克服
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	本講義は、専門性の高い業界知識を学び社会で働くうえで必要な基礎スキルを身に付けていきます。
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	映像編集実習 Video editing training	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 営業、Webディレクター、ブライダル、PAの現場で様々なスキルを身に着けた専任教員が、映像制作を中心に学習しますが、映像制作をしていく中で、パソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れ、総合的にPCスキルを上げられるように指導します。(他：データ管理方法、ファイルの種類等)授業の進み具合で柔軟に内容を変更する可能性があります。							
【到達目標】 結婚式で使用するプロフィール映像を作れるレベルまでになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション: 自己紹介、PCスキルチェック、タイピング練習、アンケート、他ミュージックビデオのカット数を数えることができる。	
2回目	写真: 画像加工の練習　他、フリー素材の紹介、様々なパターンの動画を試写を行うことができる。	
3回目	映像: 課題制作①-1(ミュージックビデオ)、提出ができる。	
4回目	映像: 課題制作②-1(ランキング動画)ができる。	
5回目	映像: 課題制作②-2(ランキング動画)、提出ができる。	
6回目	撮影: 学園祭に向けて学校中を撮影することができる。	
7回目	映像: 課題制作③-1(自由課題とします。)	
8回目	映像: 課題制作③-2(自由課題とします。)	
9回目	映像: 課題制作③-3(自由課題とします。)、提出　DVDに書き込む方法を学ぶことができる	
10回目	映像: 課題制作④-1(学校の紹介動画・予定)	
11回目	映像: 課題制作④-2(学校の紹介動画・予定)	
12回目	映像: 課題制作④-3(学校の紹介動画・予定)	
13回目	映像: 課題制作④-4(学校の紹介動画・予定)	
14回目	★評価週	映像: 課題制作④-5(学校の紹介動画・予定)、発表会ができる
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの学習の振り返り、著作権について学ぶことができる
準備学習 時間外学習	身近にある動画がどの様にしてできているか、そして、自分だったらどの様に作るか想像してみてください。	
評価方法	課題100%で評価します。	
受講生への メッセージ	授業前半では、様々なパターンの動画を作り数をこなしてもらおうと考えています。 慣れてきた後半では、自分の作りたい動画を作り込んでもらいます。 疑問、不明点があったらどしどし質問して下さいね。	
【使用教科書・教材・参考書】		
なし		

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科全員	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 学生のレベルに合わせて、外国に行く時に①困らない、②楽しく生活が出来る③仕事やプライベートが上手く行く事が目標です。主に、英語のコミュニケーションが上手になるため、リスニングとスピーキングがメインです。 実績：英会話の講師を8年以上。TOEIC満点							
【到達目標】 学生さんが言われている事をとにかく理解して、言いたい事を相手に通じる事。理解が出来ない時に頑張って説明を聞きます。言いたい事が言えないと思っても通じる方法を考え、分かりやすく説明出来ること。最後、自分の意見や提案が出来ること。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介(レベルチェック) ・ フリートークやゲーム	
2回目	ベーシック会話 ・ 会話しながら、文法などをチェック。プリントを使って、ネイティブな会話をし、できるようになる。	
3回目	ベーシック会話 ・ 会話しながら、文法などをチェック。プリントを使って、ネイティブな会話をし、できるようになる。	
4回目	BE動詞YES/NO質問(Are you? Is it?) ・ 自分から質問が出来るようにたくさん練習し、できるようになる。	
5回目	助動詞YES/NO質問(Do you … ? Can you …?) ・ 自分から質問が出来るようにたくさん練習します。	
6回目	OPEN 質問(いつ、どこ、なぜなど) ・ 自分から質問が出来るようにたくさん練習し、できるようになる。	
7回目	質問/答えのまとめ ・ スピーキングゲーム	
8回目	飛行機・道・ホテル。レストランのロールプレイで練習し、できるようになる。	
9回目	過去形文書 ・ 過去の話、過去での質問 ・ 主にフリートークで、過去にあった事を聞きます。	
10回目	未来文書 ・ 未来にやりたい事、誘い方などを勉強し、できるようになる。	
11回目	楽しい会話 ・ 外国人の友達を作れるために、コミュニケーションスキル上げます。	
12回目	意見を言う ・ 色んなトピックを選んで、同意や反対する時のいいの言い方を習って、練習し、できるようになる。	
13回目	トラブルの時 ・ 外国にいる時のトラブル解決の会話練習し、できるようになる。	
14回目	★評価週	リスニング・スピーキング テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	まだ不安な点を復習と留学に向けてのアドバイス・フリートーク
準備学習 時間外学習	出来るだけ英語で活動する。映画、音楽、本等でちょっとずつ英語を慣れていく。	
評価方法	授業の出席と参与 40%、途中テスト 20%、評価週のテスト 40%	
受講生への メッセージ	英語が困らないように一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	音響・照明実習 Sound/lighting training	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース・ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明や特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかり体感してもらいながら学んでもらいます。							
※実務経験 ブライダル業界で10年以上、音響・照明を担当している、現役講師。							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容		
1回目	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。	
2回目	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的に知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。	
3回目	音楽書作兼、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。	
4回目	BGMコーディネートについて① * お客様として *新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。	
5回目	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして *プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。	
6回目	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について *機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。	
7回目	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。	
8回目	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリーブレイ等について) *サプライズ演出が理解出来るようになる。	
9回目	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。	
10回目	スマートフォンでの活用法① 写真加工等 *スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる	
11回目	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 *スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。	
12回目	スマートフォンでの活用法② 動画等 *スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。	
13回目	レポートによる試験	
14回目	★評価週	復習をおこないます。
15回目	★まとめ・追試/再試	ヒアリングをして、再度必要な実習を行います。
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 みなさんと出会えたご縁を大切に、この業界の素晴らしさや大切さを伝えていきたいと思います。コロナ禍という事もあり、大変厳しい現状ではありますが、これから必ずよくなってきますので、一緒に頑張っていきましょう。実習も踏まえて楽しく分かりやすく授業を進めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。これからのエンタテインメントを作っていけるように頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate projects	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。 実施授業:ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有	
2回目	株式会社サウスポイント様よりIT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。	
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。	
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。	
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。	
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。	
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。	
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション	
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
14回目	★評価週	株式会社サウスポイント様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試	講評
準備学習 時間外学習		
評価方法	プレゼンテーション	
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	基礎英語	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Basic English	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合科全員					曜日・時限	
【授業の学習内容】 英国留学＆スイス留学で計3年の経験を持ち、国内メーカーにて貿易実務に従事しビジネス英語を使用した講師が、本講義を通し基礎的な英語表現を学びながら実践で使える英会話を教えます。受け身の授業とせず、学生の積極的な発言ができるように支援します。 海外約20カ国の渡航経験を生かして日本と海外の異文化や習慣の違いなどを紹介し、お客様と適切なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。							
【到達目標】 基本的な英語表現や語彙を使ってお客様に対して英語で適切な対応をしたり話したりすることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	第1回 Placement Test (クラス分けテスト)	
2回目	第2回 Unit1 & 2 【New Friends】 初対面での基本的なあいさつや会話ができるようになる。	
3回目	第3回 Unit3 & 4 【New Friends】 相手の情報を聞く表現や繰り返し表現ができるようになる。	
4回目	第4回 Unit5 & 6 【Interests】 好き嫌いの表現や自分の興味&趣味について話しお互いを知るための会話ができるようになる。	
5回目	第5回 Unit7 & 8 【Interests】 時間を聞いたり言ったりすることができるようになる。相手の意見を聞いたり自分の意見を言ったりできるようになる。	
6回目	第6回 【English in Action】 オンラインVIDEOーを見て理解し語彙を増やし会話で使えるようになる。ワークブックを活用することで復習ができる。	
7回目	第7回 Unit9 & 10 【People】 家族についての表現を学び人の性格について話せるようになる。	
8回目	第8回 Unit11 & 12 【People】 人を褒める表現や身に着けているもの(容姿)を説明できるようになる。	
9回目	第9回 Unit13 & 14 【Daily Life】 自分の毎日の習慣や日常のことを話したり相手に聞いたりできるようになる。	
10回目	第10回 Unit15 & 16 【Daily Life】 時間, 曜日, 頻度の表現, 一週間の予定や活動を話せるようになる。	
11回目	第11回 【English in Action】 オンラインVIDEOを見て理解し語彙を増やし会話で使えるようになる。ワークブックを活用することで復習ができる。	
12回目	第12回 Unit17 & 18 【My Hometown】 建物や場所について話したり聞いたりできるようになる。相手に提案を求めたり聞いたりすることができる。	
13回目	第13回 Unit19 & 20 【My Hometown】 道順や場所について聞いたり教えたりすることができるようになる。【総復習】	
14回目	第14回 ★評価週	
15回目	第15回 ★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	その日に学んだことはその日のうちに必ず「復習／review(レビュー)」しましょう！ 英語は「復習／review」がとても大切です。 人間は1時間後には約50%忘れ1日後には70%忘れてしまうと言われています。	
評価方法	定期テスト100%	
受講生への メッセージ	本講義では基礎的な英語表現を使って実際に使える英会話を学びます。 間違うことを恐れずに積極的に英語で話してみましょう。 体調管理にも十分気を付けましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now by Oxford University Press Speak Now Workbook by Oxford University Press		

科目名 (英)	空間コーディネート Spatial coordination	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ススタイリスト&ビューティーコース/ブライダル総合コ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 最年少でNFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。KAMYU STYLE(カミュスタイル)主宰。数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解する	
3回目	VMDについて理解する	
4回目	ディスプレイに用いる什器の組み合わせ方法が出来るようになる	
5回目	校内で実際にディスプレイを行う場所を考えプランニングをすることができる	
6回目	プランを実践①	
7回目	プランを実践②	
8回目	商品ディスプレイについて理解する	
9回目	色彩がもたらす心理効果について理解する	
10回目	空間コーディネートと植物について理解する	
11回目	インテリアコーディネートと生花とは何か理解する	
12回目	評価週に向けて校内でディスプレイを行う場所を考えプランニング①ができる	
13回目	評価週に向けて校内でディスプレイを行う場所を考えプランニング②ができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試／再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(100%)	
受講生への メッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することで、空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	司会・アテンド実習 Moderator / Attendance training	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ・ブライダル業界に25年在籍の経験を活かし、人前式での司会の大切さを伝え、それに伴うアテンド業務の新婦に対するサポートの仕方、動線の流れを把握し、現場力の強化ができるように導く。 ※実務経験 ブライダル業界にてプロデュース業25年以上のキャリア。							
【到達目標】 ・司会は、現場での声のトーンや、聞きやすい口調を実践でできるようになる。 アテンドは、人前式の流れの理解と、新婦への寄り添い方、ドレスのさばき方、コミュニケーションの取り方を取得する。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、プランナーとしての心構え、司会・アテンドの心構え、ボイストレーニングを理解することができる	
2回目	①ボイストレーニング②早口ことば③声のトーンを理解することができる	
3回目	人前式の流れと意味を理解することができる	
4回目	人前式の前稿を作成Ⅰ進行表を理解することができる	
5回目	人前式の前稿を作成Ⅱ進行表に沿って前稿を作成することができる	
6回目	司会（人前式の開始の案内、説明の読み合わせができる）	
7回目	司会（人前式の前半の読み合わせができる）	
8回目	司会（人前式の後半の読み合わせができる）	
9回目	アテンド（人前式の前半の流れができる）	
10回目	アテンド（人前式の後半の流れができる）	
11回目	実践Ⅰ人前式にて、司会の前半ができる、アテンドは司会コメントに合わせることができる	
12回目	実践Ⅱ人前式にて、司会の後半ができる、アテンドは司会コメントに合わせることができる	
13回目	実践Ⅲ人前式にて、司会とアテンドで人前式のすべてができる	
14回目	★評価週	実技テスト 司会、アテンドの対策ができる
15回目	★まとめ・追試/再試	実技テスト 司会、アテンドを取得する
準備学習 時間外学習		
評価方法	・期末テスト 100%（実技テスト）	
受講生への メッセージ	・人前式とアテンドの関係性を理解し、現場でのスムーズな挙式を行ってほしい。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	就職講座 I Employment Seminar	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本校にて多くの卒業生の就職講座を担当してきた教員による、就職活動に向けた基礎講座を行います。 自己分析、他己分析、就職活動に伴う書類対策を行う。質疑応答対策(グループ面接)、オンライン面接対策も行う。							
【到達目標】 11月末までに履歴書完成が出来る。 面接官に左右されない、オンライン・対面面接に対応できるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	適正検査(能力検査、性格検査)について知ることが出来る。	
2回目	会社説明会(オンライン企業説明会の注意点)について知ることが出来る。	
3回目	対面面接・オンライン面接のそれぞれの第一印象の違いなどについて理解できる	
4回目	面接時の言葉遣いについて理解し、実践できる。	
5回目	自己分析を行うことが出来る①	
6回目	自己分析を行うことが出来る②	
7回目	自己PRのキーワード・キャッチコピーを自身で考え発表できる	
8回目	面接時の入室から退出までの具体的マナーを知ることが出来る	
9回目	接遇五原則(特にみだしなみについて)理解、実践できる。	
10回目	履歴書を完成させることが出来る	
11回目	ES(エントリーシート)を完成させることが出来る	
12回目	質問大会を行い面接時の対応力を磨くことが出来る	
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し実行できる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	出席日数 50% グループ面接50%	
受講生への メッセージ	面接は普段会うことのない大先輩たちとの出会いです。貴重な出会いを大切に心に残していきましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	就職講座Ⅱ Employment Seminar	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 皆さまご存知の通り新型コロナウイルス感染拡大以降、世界中が混沌とした状態に陥りました。このような状況下での就職活動は先行きの見えないものになりましたが、今まで以上に基本に忠実に皆様に求められている適正、スキルを把握しながらともに学びを深めていきましょう。 アメリカのことわざ「CHANGE IS CHANCE」大きな変化には必ずチャンスがある、と。今回から毎回「目標到着シート」を用意します。授業では出来たこと、出来なかったことを書くことによって認識していきます。							
【到達目標】 ・就職活動に必要なことを理解し、自ら考えて行動できる。 ・グループディスカッション・集団面接・個人面接の意図を理解し、本番に臨むことができる							

授業計画・内容		
1回目	1年次の振り返りとメラビアンの法則で第一印象の大切さを知る	
2回目	接遇5原則の復習により好印象をさらに理解し、体現することができる	
3回目	エントリーシートの書き方を通して、自分の強みをしっかりアピールする力を学ぶ	
4回目	グループディスカッション＆グループワーク、面接官の視点をしっかり把握する	
5回目	グループ面接①自信をもって発言することの大切さを会得する	
6回目	グループ面接②練習する大切さとWEB面接のやり方を学ぶ	
7回目	グループ面接③自分の弱点克服法を学ぶ	
8回目	グループ面接④予想外の質問対処法を身に付ける	
9回目	入退室のおさらい	
10回目	グループ面接と個人面接の相違点を学び、今後さらに変化していく面接を学ぶ	
11回目	身だしなみのおさらい、自由な服装の盲点を学ぶ	
12回目	総まとめ	
13回目	質問大会、過去の既出質問を復習しながら、すべてに答えられるようにする	
14回目	★評価週	グループ面接
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	毎回、一般常識として気になるニュース、四字熟語、ことわざ等クイズ形式で出す予定。	
評価方法	毎回提出の「到達目標シート」(50点) 実技(50点)	
受講生への メッセージ	まずは内定、そしてなくてはならぬ社会人を目指しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	進級制作 Promotion production	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、 1年間の集大成として、チームワーク力を活かし模擬披露宴を完成させることができる							
【到達目標】 協調性、チームワーク力を活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容		
1回目	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。	
2回目	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。	
3回目	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。	
4回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
5回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
6回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
7回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
8回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
9回目	中間発表	
10回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
11回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
12回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
13回目	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する	
14回目	★評価週	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
15回目	★まとめ・追試/再試	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	進級制作、初めてのことばかりで、きっと緊張もします！その不安はチームワークでいい緊張感に変わっていきます。相手に何かを伝えることは自分自身をしっかりと理解して、あなた自身を受け入れることから始まります。また、相手を受け入れることが課題である、チームワークの鍵となります！We areでキラキラした瞳と自分の笑顔を想像して、挑んでくださいね！そして、あと少しの努力。を忘れずにやっていきましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	世界のブライダルファッション World bridal fashion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 自分自身で、諸外国のブライダルファッションの歴史や伝統を調べることによって、専門分野の幅広い知識を深め、それをパワーポイントにまとめて発表します。パワーポイントの基本的な操作方法、聞き手が理解しやすいプレゼンテーションのポイントなどを伝えていきます。 ※実務経験:TAKAMI BRIDALにて、ブライダルスタイリスト3年半の経験。 OJTとして新人指導や商品課として、商品の入荷や商品開発に携わる							
【到達目標】 ・諸外国におけるブライダルファッションの伝統・文化・トレンドを理解する。 ・基本的なパワーポイントの操作法方を身に付ける。 ・聞き手に対して分かりやすいように、工夫しながらプレゼンテーションができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション(自己紹介)(他己紹介)	
2回目	プレゼンテーションのやり方、評価方法を理解する。チーム分けとチーム内での担当国を決め、世界のブライダルファッションの歴史や伝統を調べる	
3回目	プレゼンテーション準備①(グループワーク/2人1チーム)	
4回目	〃 ②	
5回目	〃 ③	
6回目	〃 ④	
7回目	中間発表＋質疑応答（一人一つは質問をすること） / 評価用紙を配布。意見交換ができる	
8回目	プレゼンテーション2回目(個人発表)準備①	
9回目	〃 ②	
10回目	〃 ③	
11回目	〃 ④	
12回目	中間提出（一人ずつ先生に見せる）	
13回目	中間提出を踏まえて、改善をする	
14回目	★評価週	個人発表(前半) 10分/1人 モニター準備
15回目	★まとめ・追試/再試	個人発表(後半) 10分/1人 モニター準備
準備学習 時間外学習	特になし	
	3回目以降は、PCを必要台数4階受付より借りて授業前に準備しておくこと	
評価方法	プレゼンテーション、パワーポイントの完成度	
受講生へのメッセージ	この度はご入学おめでとうございます。日本以外のブライダルファッション文化・伝統を学ぶことは、スタイリストとして多種多様な新郎新婦様と関わっていく上で、非常に役立つ知識だと思います。それと同時に、パワーポイントの操作方法やプレゼンテーションの仕方など、社会人としての基本的なスキルも一緒に身に付けていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし。		

科目名 (英)	店舗接客実習Ⅱ Store customer service trainingⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてブライダルスタイリストとして社内のインストラクター資格を取得し、新人教育を担当した実績がある教員が、接客シュミレーションを中心に行い、一連の流れを理解し、衣裳の専門的な知識を身につける。							
【到達目標】 接客の流れや立ち居振る舞いを身につけ、お客様に合った衣裳のご提案をできるようになる							

授業計画・内容		
1回目	スタイリストの業務内容の復習と、ブライダル業界においてのスタイリストの立ち位置について学ぶ	
2回目	ドレスのすすめ方についてお客様のご要望や会場に合ったドレスをご提案できるようになる(ロープレ)	
3回目	実践でドレスのサイズ感について(妊婦様など)学ぶ	
4回目	タキシードのすすめ方について、お客様のご要望やドレスに合ったタキシードをご提案できるようになる(ロープレ)	
5回目	和装の試着方法と接客の流れを学ぶ(ロープレ)	
6回目	前回の復習を兼ねてお客様のご要望に沿ったご提案や柄の説明ができるようになる	
7回目	中間テスト(筆記・実技)	
8回目	中間テストの答案返却とその解説(時間が余れば今までの復習)	
9回目	初回来店～挙式当日までに行う打ち合わせの内容、スケジュールの組み方を学ぶ	
10回目	ドレスショップとして「あなたにお願いしたい」と思ってもらえるようなトーク、見積りの説明など商談について学ぶ	
11回目	お客様のお出迎えからカウンセリング、衣裳提案までの流れをできるようになる(ロープレ)	
12回目	先週の続きで提案した衣裳を試着して小物までのご提案ができるようになる(ロープレ)	
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習	
14回目	★評価週	筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験・期末試験(筆記・実技)	
受講生への メッセージ	接客を中心とした授業で実践力を身につけることによって、よりスタイリストへの道が近づきます。一緒に素敵なスタイリストをめざしましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します		

科目名 (英)	店舗接客実習 I Store customer service training I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティコース	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてファッションスタイリストとして新人研修を担当した実績のある専任教員が、接客をメインとしたロープレ実習を行い、接客の流れや言葉遣い、立居振舞の基本が身に付く様に指導致します。 実務経験 全日本ブライダル協会 & 桂由美ウエディングシステムセミナーのブライダルファッションスタイリストの資格を頂きました。 【到達目標】 実践を意識した接客(ヒアリング→提案→コーディネート)の流れを習得し、言葉遣いや立居振舞の基本を身に付ける事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	スタイリスト(衣裳店)の業務内容、インストアと路面店の違いを理解する事が出来る	
2回目	(ドレスの勧め方①) お客様の要望や会場季節に合ったドレスを選んでご紹介をする流れをロープレを通して説明する事が出来る	
3回目	(ドレスの勧め方②) 前回の授業の復習も兼ねて、設定に沿ったお客様のご希望に合う提案が出来る(コメント・動きをマスターする)	
4回目	(タキシードの勧め方) お客様の要望やドレスに合ったタキシードを選んでご紹介をする流れをロープレで学ぶ	
5回目	(和装の試着の仕方①) 和装(打掛)の試着方法の実習と接客の流れを習得する事が出来る	
6回目	(和装の試着の仕方②) 前回の復習も兼ねて、打掛の試着をしながら、柄の説明やお勧めのポイントをロープレを通して身に付ける事が出来る	
7回目	(接客シュミレーション①) お客様のお出迎えからカウンセリングまでの流れを理解し習得することが出来る	
8回目	(接客シュミレーション②) 先週の続きでカウンセリングを元に衣裳を提案し、ドレスのデザイン紹介をする事が出来る	
9回目	(接客シュミレーション③) 先週の続きで提案した衣裳を試着してテーマに合ったコーディネートが出来る	
10回目	(接客シュミレーション④) 試着後の商談やご説明の流れを学び理解する事が出来る	
11回目	(接客シュミレーション⑤) ①～④の内容を通してロープレして一通りの流れを習得する事が出来る	
12回目	(スケジュール管理) 初回来店→挙式までに行う打ち合わせの内容と、スケジュールの組み方、最終書類の作成や必要性を理解する事が出来る	
13回目	次週の実技試験の内容の説明と練習を行います(筆記試験範囲の説明も致します)	
14回目	★評価週	筆記試験・実技試験(接客)の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	先週の筆記試験の答案解説と半年間のまとめ
準備学習 時間外学習	期末テスト(筆記試験)の前は、各自振り返りをお願い致します。	
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	接客実習を中心とした授業の中で、スタイリストとしての業務内容や仕事の基本の流れを身に付けましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。(その他必要資料はプリントを配布致します。)		

科目名 (英)	日本の伝統と文化(茶道)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Japanese Traditional and Culture	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合科					曜日・時限	
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することが出来る。道具の名前やどの様にして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることが出来る。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することが出来る。							

授業計画・内容		
10月1日	TEAM:B自己紹介 お茶の歴史(当時の武将との関係)禅僧の言葉	
10月8日	お茶を点てるために必要な道具の名称を知る	
10月15日	①一つ一つの道具の使い方、和室の歩き方、座り方、襖の開閉の仕方	
10月22日	②一つ一つの道具の使い方、お茶の点て方、お菓子の頂き方	
10月29日	①最初から終りまで通してできるようになる	
11月5日	②最初から終りまで通してできるようになる(亭主(お茶を点てる人)とお客さんに分かれてやる)	
11月12日	テスト	
11月19日	まとめ、追試、再試	
11月26日	TEAM:B自己紹介 お茶の歴史(当時の武将との関係)禅僧の言葉	
12月3日	お茶を点てるために必要な道具の名称を知る	
12月10日	①一つ一つの道具の使い方、和室の歩き方、座り方、襖の開閉の仕方	
冬期休暇【12/23(水)～1/13(水)】		
1月14日	①最初から終りまで通してできるようになる	
1月21日	②亭主(お茶を点てる人)と正客(お茶を飲む人)に分かれてやる	
1月28日	★評価週 テスト	
2月4日	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50%) 期末テスト(50%)	
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
特になし		

科目名 (英)	日本の伝統と文化(書道) Japanese tradition and culture	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】 公益財団法人 日本習字教育財団認定 書道三段 高等師範免許 所持。 携帯電話やパソコンでのやり取りが日常となった現代では、文字を正しく美しく書くという日本の文化が衰微しつつあります。 書いた人の個性や気持ちを伝える手書き文字の大切さを学びます。 華道家元池坊でいけばなを学んで、花の向きや動き・表情のとらえ方、空間の取り方などを学びました。花一本一本にも表情、個性があることを理解して、花を生き物として扱い、暮らしの中に取り入れていただきたいと思っています。日本で生まれたいけばなに親しんでみましょう。 ※実務経験 フラワー装飾技能士1級、フラワーデザイナーとして活動。							
【到達目標】 筆ペンや大筆を正しく使い、社会人として必要なひらがな・カタカナ・自分の名前を正しく美しく書けるようになること。冠婚葬祭の場で最低限必要な手書きの心得を身につけること。大筆を使って感じの基本的点がを「永字八法」で習得し、楷書の手習いを通して半紙に四字程度をバランスよく書けるようになること。							

授業計画・内容	
1回目	筆の持ち方、角度、書く姿勢などについて説明。自分の住所、名前を書くことができる
2回目	「永字八法」にみる全ての点画の基礎について説明、「永」を書いてみる。 封筒宛名書くことができる
3回目	#書と写真のコラボ デザイン書 で 書道に親しむことができる
4回目	ミニ展示の準備、作品制作ができる(写真コラボ、色紙、掛け軸 他)
5回目	夏の挨拶文 『暑中見舞状』 や、お礼状を題材に ペン字 ひらがなの基本を学び理解できる
6回目	披露宴における 芳名帳、ゲストカード を題材に 美しい文字を目指し書くことができる
7回目	のし紙、のし袋 日常生活のいろいろなシーンで役に立つ、冠婚葬祭表書きを書くことができる
8回目	自己紹介 華道の歴史や道具について説明し、華道の授業を理解できる
9回目	盛花 規則を理解する、剣山の使い方を理解できる
10回目	盛花 季節の花を知ることができる
11回目	盛花 枝物を使う 枝物の使い方を理解できる
12回目	投げ入れ 剣山を使わないで花を生けてみる、花どめについて考えてことができる
13回目	自由花 自由な発想で活けてみる、花を活かす生け方を考えることができる
14回目	自由花 なぜそう生けたのかを発表する レポートを書く
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆ペンでひらがな・カタカナ・自分の名前を正しく美しく書けるようになったか。
受講生への メッセージ	筆ペンや筆は、基本的なコツを覚えるととても便利で重宝する筆記具です。手書きのぬくもりを人につたえるつもりで楽しく書道をやきましょう。上手な字より良い字を書くことです。一人一人の個性も大事にしつつ、書くという表現の面白さを感じられれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	和装知識 Kimono knowledge	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
冠婚葬祭や、ショーなどで着付けを手掛ける1級着付け技能士が、着物に関する道具や歴史、TPO等の知識を広げる授業を実施する。							
【到達目標】 お客様の大切なお着物を扱ったり、接客において着物に関する知識は必要です。衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となるくらいまでに、深く着物にまつわる知識を習得する							

授業計画・内容		
1回目	着付け座学① 着物の歴史を学ぶことが出来る。	
2回目	着付け座学② 着物の歴史を学ぶことが出来る。	
3回目	着付け座学③ 前回の復習。男性女性着物の違い。着物の名称を学ぶことが出来る。	
4回目	着付け座学④ 前回の復習。男性女性着物の違い。着物の名称を学ぶことが出来る。	
5回目	着付け座学⑤ 前回の復習。吉祥文様、着物の本量み、襦袢量み、夜着量みを学ぶことが出来る。	
6回目	着付け座学⑥ 前回の復習。着物、帯の種類(織りと染めの違い)の知識を学ぶことが出来る。	
7回目	着付け座学⑦ 前回の復習。着物の格式を学ぶことが出来る。	
8回目	着付け座学⑧ 前回の復習。着物の格式を学ぶことが出来る。	
9回目	着付け座学⑨ 小物の種類と紋の種類について学ぶことが出来る。	
10回目	着付け座学⑩ 季節とTPOについて学ぶことが出来る。	
11回目	着付け座学⑪ 練習問題(座学の内容から出題)	
12回目	着付け座学⑫ 着物に合うメイクを学ぶことが出来る。(冠婚葬祭)メイク道具を持参して臨むこと。	
13回目	着付け座学⑬ 着物に合うメイクを学ぶことが出来る。(冠婚葬祭)メイク道具を持参して臨むこと。	
14回目	★評価週	【定期試験】筆記(座学の内容から出題)
15回目	★まとめ・追試/再試	まとめと振り返り
準備学習 時間外学習	ノートや配布したプリントは毎時間必ず持参して下さい。自主的に毎時間の復習を行い、授業に臨むこと。ドラマや映画で着物を見る機会があったら意識して見てみる。(大河ドラマや朝ドラなど)	
評価方法	筆記テスト(座学の内容から100点満点で評価する。)	
受講生への メッセージ	着付けは知れば知るほど奥深い日本の着物文化。本当に素晴らしい文化を先人たちは残してくれました。しかし昨今、着物離れが進んでいるのが現実です。お客様の中には模様や、小物の意味合いを知らない方も多くいらっしゃいます。ですが着物には、意味合いや、願いが散りばめられています。この授業では、着物の歴史、格式や小物について学びます。お客様にただ着物を着付けるだけではなく、込められた想いと一緒に届けて差し上げること、着付けに携わる者の使命だと思います。一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
【着物用語辞典・きもの入門】【着付け職種技能検定過去問】		

科目名 (英)	和装着付け Kimono attachment	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	スタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 冠婚葬祭や、ショーなどで着付けを手掛ける1級着付け技能士が、着物に関する知識を広げる座学、婚礼にまつわる着物の着せ付けの授業を行う。相モデルでの実習となる授業のため、遅刻や欠席は出来るだけせず臨んでほしい。							
【到達目標】 晴れの日の着付けにおいて知識を身に付け、実技を反復して練習することにより衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となる。また着付師として着物や帯の柄とお客様の体型とのバランスを考慮し、見合った着せ付けが出来るようになる。							

授業計画・内容		
1回目	着付け座学① 着物の歴史、着物、帯の種類(織りと染め)、吉祥文様、紋、TPOの知識を得る。	
2回目	着付け座学② 男性女性着物の違い。着物の名称、畳み方の知識を得る。	
3回目	着付け演習① 衿とじ、黒留袖の補正が出来るようになる。	
4回目	着付け演習② 補正の復習、道具のセッティング、長襦袢の着付けが出来るようになる。	
5回目	着付け演習③ 長襦袢復習 留袖の着付けが出来るようになる。	
6回目	着付け演習④ 長襦袢、留袖の復習、手順を完璧に習得出来るようになる。	
7回目	着付け演習⑤ 帯結び(お太鼓)を習得出来るようになる。	
8回目	中間テストに向け復習。模擬テスト	
9回目	【中間テスト】筆記(座学の内容から出題)	
10回目	着付け演習⑥ セッティング10分、長襦袢、留袖を50分で着付け、帯結びまで出来るようになる。	
11回目	着付け演習⑦ セッティング10分、長襦袢、留袖を50分で着付け、帯結びまで出来るようになる。	
12回目	着付け演習⑧ 3人2組で着付けのヘルプが出来るようになる。	
13回目	着付け演習⑨ 3人2組で着付けのヘルプが出来るようになる。定期試験に向けて練習する。	
14回目	★評価週	定期試験に向けて練習する。
15回目	★まとめ・追試/再試	【期末テスト】セッティング10分、50分で黒留袖を着付ける。
準備学習 時間外学習	相モデルで時間確保のため、授業前に必要な道具を準備しチャイムと同時に始められるようにする。毎時間新しい技術が増えていきます。日々ノートやプリントを見返すなど自主的に復習を行い毎週の授業に臨むこと。毎時間配布したプリント類、筆記用具、定規(15センチ以上)を持参する。ドラマや映画で着物を見る機会があったら意識して見てみる。	
評価方法	評価は授業内で習得した技術の理解度を確認する。試験時間は中間テスト60分(50点)期末テスト60分(50点)の合計100点満点で評価する。	
受講生への メッセージ	着付けは、とにかく反復練習あるのみです。体に覚えさせていくことが、上達への近道です。着物は年齢によって、着せ付けが異なります。今回は黒留袖を習得しますが覚える事が多いため毎時間、頭を柔軟に切り替えながら学ぶように頑張って下さい。知れば知るほど奥深い日本の着物文化。本当に素晴らしい文化を先人たちは残してくれました。しかし昨今、着物離れが進んでいるのが現実です。お客様の中には模様や、小物の意味合いを知らない方も多くいらっしゃいます。ですが着物には、意味合いや、願いが散りばめられています。この授業では、座学でも着物や、小物について学びます。お客様にただ着物を着付けるだけではなく、込められた想いと一緒に届けて差し上げることも、着付けに携わる者の使命だと思います。一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
着物用語辞典・きもの入門		

科目名 (英)	ヘアメイク実習 Hair make training	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルヘアメイクアップアーティストとして700件以上担当した教員がこれまで培ってきた経験と技術を基に現場で通用する技術を育成します。							
【到達目標】 基礎的なヘアメイクの知識と技術を身につけて自分をきれいにヘアメイクする事が出来る。自己プロデュース力を身につける事が出来る。							

授業計画・内容		
1回目	セルフメイクをするに当たり必要なメイク道具と使い方を把握する事が出来る。	
2回目	セルフで肌の色と状態に合わせたベースメイクが出来る。自分に似合う眉毛を描く事が出来る。	
3回目	自分の肌に合うアイシャドーを知りセルフで乗せることが出来る。アイラインを引く事が出来る。	
4回目	自分の肌に合うチークとリップを乗せる事が出来る。	
5回目	中間テスト セルフでフルメイクを行う。	
6回目	ヘアーの道具と用途を把握する事が出来る。ウィッグを使ってピン留めが出来る。	
7回目	ウィッグを使ってコテ巻き、ストレートウェーブ巻きが出来る。	
8回目	セルフで自分のヘアーをまとめる事が出来る。	
9回目	ワックスやスプレーを使い分ける事が出来る。	
10回目	セルフメイクでハイライトとローライトを使い分ける事が出来る。	
11回目	セルフで自分の髪の毛を巻く事が出来る。	
12回目	テーマを決めたセルフヘアメイクが出来る。	
13回目	期末テストに向けてセルフで就活ヘアメイクが出来る。	
14回目	★評価週	期末テスト セルフで就活ヘアメイクを行う。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの課題を克服出来る。
	メイクの授業の際はセルフメイクを行いますので普段使用しているスキンケア、メイク道具があればご持参お願いします。	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(30%) 授業(30%) 期末テスト(40%)	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。この授業ではヘアメイクを通してみなさんの自己プロデュース力を磨いていける知識と技術を教えていきます。ぜひみなさんに楽しく学んでいただきたいと思います。わからない事がありましたら遠慮なくどんどん質問してくださいね。	
【使用教科書・教材・参考書】		